

R02 一級建築士設計製図試験

高齢者介護施設

課題分析帖 ver.20200811

by 製図試験/com

本書での学習内容の進め方

本書では、課題「高齢者介護施設」を攻略するために以下のような学習内容の進め方をイメージしています。目次と合わせて、全体像をつかんでいただければと思います。

1 : 「高齢者介護施設」の課題解題

本年度課題にはどのような特徴があるのかを詳細に解説します。

2 : 高齢者介護施設とは

居宅サービスと居住施設からなる高齢者介護施設とは。

同施設に求められる機能・諸元

高齢者介護施設に求められる機能・要求室等を解説します。

3 : 本年度課題のポイント

①全体構成

②ユニットケアが従来型か

③他、理解しておきたいポイント

4 : 再度押さえておきたい計画上のポイント

建築、構造、設備、建築環境負荷低減のポイントを解説します。

5 : 本年度エスキース・作図上のポイントについて解説します。

本年度でのポイントをステップエスキースに加える形で解説します。

(ステップエスキースを横に置きつつ読み込んでください)

6 : 本試験予想

このあたりが狙われそうというものについて解説します。

受験対策・まとめ

目 次

1 : 「高齢者介護施設」課題解題

1-1 出題の時代背景

1-2 課題内容解説

2 : 高齢者介護施設の概要

2-1 居宅サービスと居住施設

2-2 居宅サービスの部門と要求室

2-3 居住施設とは

2-4 居住施設の部門と要求室

3 : 本年度課題のポイント整理

3-1 全体構成

3-2 ユニットケア型と従来型

3-3 その他おさえておきたいこと

3-4 建築法規の 7 点

4 : 押さえておきたい計画上のポイント

4-1 建築計画

4-2 構造計画

4-3 設備計画

4-4 建築環境負荷低減

5 : ステップエスキース ESTEP + 作図手順 DSTEP

5-1 ESTEP-00 ポイント

5-2 ESTEP 各ポイントでの要注意事項

5-3 DSTEP 注意事項

5-4 パーツについて

5-5 計画の要点について

6 : 本試験予想 メンタル まとめに代えて

本書で「*P21」は、全て拙著「ステップで攻略するエスキース P21」を意味します。

<お願い> 課題分析帖及びパート集の著作権は製図試験 com にあります。

コピーやネットでの共有・販売は行わないようお願いいたします。

1:「高齢者介護施設」課題解題

1-1 出題の時代背景

実は初出題の介護施設

実は JAEIC として、介護施設の正面から扱うのは、私が知っている限りではこれが初めてではないかと思います。類似課題として、

- ・h11 高齢者施設を併設した集合住宅、
- ・h23 介護老人保健施設（通所リハビリテーションのある地上 5 階建ての施設）、
- ・h27 市街地に建つデイサービス付き高齢者向け集合住宅（基礎免震構造建物）

がありますが、居宅サービス + 集合住宅や保健施設なのであり、**介護施設**というのを初めてではないかと思います。それだけ製図試験課題としては扱いにくいジャンルだし、厚労省の縛りも気になるしで、中々出題されませんでした。

私が書くまでもなく、超高齢化社会となる日本において、病院の延長線上から始まった老人ホームは、姥捨て山のように山奥に建てられる悲しい監獄のような施設の時代が長い間続きました。日本人の平均寿命が 70 歳くらいの時の話です。また当時は介護保険も介護という概念もなく、家で寝たきりでどうしようもなく、施設に入れる、というパターンが前提だったように思います。

ところが今や 90 歳近くまで生きることになっているのに、健康寿命は 73 歳。あの 17 年は病院や介護でお世話にならねばならない時代となりました。施設にも短期だけではなく、居住施設としての位置付けも不可欠となりました。

大きく分けて 3 つのカテゴリ

介護施設は、ざっくり健康型（健康～要支援 2 まで）自立支援型（要介護 1 ～ 3）、介護型（要介護 4-5）と分けられます。また高額の民間有料老人ホームから、ほぼ公費でまかなわれる養護老人ホームまであります。現時点では、このうち、要介護 3 あたりの施設需要がまかない切れていない現状があり、その中の出題となっています。

状況的には、その中のサービス付き高齢者住宅（いわゆるサ高住）があり、住宅型有料老人ホームがあります。特養に送るまでをどうキープできるのか、特養ではなくどうハッピーな介護ライフが送れるのか、このあたりが社会的ニーズであり、今回の出題背景でしょう。

終の棲家としての居住施設

そういう背景を考えると、出題されるべき居住施設は、終の棲家としての豊かさをもつてることは必須条件だと思われます。

そこで登場するのが、ユニットケアとなるわけであり、本年度試験の本命ではないかと考えています。

本書では、ステップエスキースをベースにしつつ、基準階型の高齢者介護施設にトライしてまいります。

Cf: 常に持ち歩いておきたい本試験問題

平成 30 年度のエポックメイキングといえば、問題文が A2 に前触れもなく突如変わったことに尽きます。情報量が多くなり、目が泳ぐようになりました。タダでさえ、長くなった問題文は更に自由に長くなる可能性が出てきたわけです。

実は多くの方が未だ A2 の問題文そのものに慣れていません。そして弊社も含め、独自で問題開発を進めていく過程で、どうしても本試験とは雰囲気が異なる部分がでてきてしまいます。そこでそこで。

問題文、解答例、ご自身の答案を背張り製本することをオススメしている製図試験.comですが、その製本の中に必ず A2 版の過去問題文(h30～)を入れておいてほしいとお願いしています。時間が空いたときは、ボーッと眺めるだけでもよいんです。また h30 本試験以降この A2 問題用紙での試験を解いていない方はもう一度解いていただきたい。

A2 パターンに慣れるには、日頃から眺めておくことが非常に重要です。なぜこんな言い回しをしているんだろう、これは意味のある記述なのか、それとも単なる変更なのだろうか。という感じです。

可能な限り本試験に近づけるのは、私どもの役目ですが、それと共に常日頃から h30 以降の A2 の問題文を覗ておくことを忘れないでください。。

1-2 課題内容解説

課題名

いきなりですがタイトルを曖昧にぼかしてきました。定義として「高齢者介護施設」というものは存在しません。出題範囲が広く曖昧な定義作戦のスタートです。

要求図書

要求図書もぼかしてきました。1階-2階-3階（基準階）が基本ですが、3階なのか基準階なのかは気をつける必要があります。また1階-2階という出題（h12やh17）も可能性としてはあります。

(注1) 居宅サービスを行う施設及び居住施設で構成する建築物の計画とする。

今回の出題では、居宅サービスを行う施設及び居住施設の複合施設だということがわかります。

(注2) バリアフリー法に規定する特別特定建築物の計画とする。

(注3) 建築基準法令に適合した建築物の計画(建蔽率、容積率、高さの制限、延焼のおそれのある部分、防火区画、避難施設 等)とする。

計画に当たっての留意事項

昨年とほぼ同じですが、昨年は1行目が

「敷地条件(方位等)や周辺環境に配慮して計画すると共に、空調負荷の抑制や自然光の利用を図る。」であったのに対し、

「空調負荷の抑制や自然光の利用を図る。」が省略されました。これは空調負荷の抑制よりもコロナ対策を優先させていることが暗に含まれていると感じています。

注意事項

当たり前のことが書いてあるだけですが、上記の建築物の計画に当たっての留意事項（下線筆者）を理解して、と念を押すような記述に変更されています。また試験会場には、小さい文字ですが、上記留意事項が貼り出されて掲載されていたということです。

令和2年一級建築士試験「設計製図の試験」の課題

課題名 高齢者介護施設

要求図書 1階平面図・配置図（縮尺1/200）各階平面図（縮尺1/200）

※各階平面図については、試験問題中に示す設計条件等において指定します。

断面図（縮尺1/200）面積表 計画の要点等

- (注1) 居宅サービスを行う施設及び居住施設で構成する建築物の計画とする。
- (注2) バリアフリー法に規定する特別特定建築物の計画とする。
- (注3) 建築基準法令に適合した建築物の計画(建蔽率、容積率、高さの制限、延焼のおそれのある部分、防火区画、避難施設 等)とする。

建築物の計画に当たっての留意事項

- ・敷地の周辺環境に配慮して計画する。
- ・バリアフリー、省エネルギー、セキュリティ等に配慮して計画する。
- ・各要求室を適切にゾーニングし、明快な動線計画とする。
- ・建築物全体が、構造耐力上、安全であるとともに、経済性に配慮して計画する。
- ・構造種別に応じた架構形式及びスパン割りを適切に計画するとともに、適切な断面寸法の部材を計画する。
- ・空気調和設備、給排水衛生設備、電気設備、昇降機設備等を適切に計画する。

注意事項

「試験問題」及び上記の「建築物の計画に当たっての留意事項」を十分に理解した上で、「設計製図の試験」に臨むようにして下さい。なお、建築基準法令や要求図書、主要な要求室等の計画等の設計与条件に対して解答内容が不十分な場合には、「設計条件・要求図面等に対する重大な不適合」等と判断されます。

< 受験者の皆様へのお願い > 略

3つの注釈について

□注 1) 居宅サービスを行う施設及び居住施設で構成する建築物の計画とする。

①居宅サービスとは

自宅がある人に対しての介護サービス全般を指します。

本試験では、介護ステーション、通所介護サービス（デイサービス）、短期入所介護サービス（ショートステイ）が対象となると考えてよいでしょう。

②居宅施設とは

自宅を施設に移しているものでそこに住むサービスです。

公的なサービスと民間サービスがあり、介護度やニーズによって様々な施設がありますが、大きく、特別養護老人ホーム/介護老人保健施設/養護老人ホーム/軽費老人ホーム（ケアハウス）/介護付き有料老人ホーム/住宅型有料老人ホーム/健康型有料老人ホーム/サービス付き高齢者住宅(サ高住)/グループホームの9種類があります。

そのうち、出題される可能性が高いものが

特別養護老人ホーム/軽費老人ホーム（ケアハウス）/住宅型有料老人ホームではないかと推測しています。

□注 2) バリアフリー法に規定する特別特定建築物の計画とする。

特別特定建築物（法第2条17号）

不特定かつ多数が利用し、又は主として高齢者が利用する特定建築物を指す。

-9.老人ホーム、保育所、身体障害者福祉ホームその他これらに類するもの（主として高齢者が等が利用するものに限る）で2,000m²以上が対象。

ということですが、いつものようにバリアフリー法円滑化誘導基準（厳しい方）で計画していただいているので、何も考えずにいつもの通りに計画するだけです。

□注 3) 建築基準法令に適合した建築物の計画（建蔽率、容積率、高さの制限、延焼のおそれのある部分、防火区画、避難施設 等）

昨年度と同じ出題注です。

建築基準法については、

- 1) 防火区画（面積区画・窓穴区画）+外部区画
- 2) 二方向避難（60m/30m）無窓で40m/20m
+可能性としては、非常用進入口、代用進入口の出題
+シャーター（滑り台）の設置の出題の可能性
- 3) 延焼の恐れのある部分（隣地・道路中心線から3m/5m）
- 4) 敷地内通路有効1.5m以上
- 5) 建ぺい率（70%以下の場合は引っかかる可能性あり）
- 6) 容積率（前面道路の制限がかからない限り超えません）
→かえって容積率の記述があるのが疑問。
→エレベーターシャフトを除く計算が求められる？
- 7) 高さの制限（絶対高さ指定、道路斜線：2Aかつ35m）
→絶対高さ壁面位置指定は抵触した時点で不合格
→道路斜線は8m以下の道路の場合は要注意。

関連法としての老人福祉法と介護保険法は読んでおきましょう。

老人福祉法

https://www.mhlw.go.jp/web/t_doc?dataId=82111000&dataType=0&pageNo=1

介護保険法

https://elaws.e-gov.go.jp/search/elawsSearch/elaws_search/lsg0500/detail?lawId=409AC0000000123

2:高齢者介護施設の概要

2-1 居宅サービスと居住施設

本年度の製図試験は、「居宅サービス」と「居住施設」から構成させることが事前に発表されています。ではそれらが具体的にどのようなものなのか追っていきましょう。

3つの居宅サービス

居宅サービスは、読んで字のごとく、自宅に住まいながら受けられる介護サービスを指します。出題されると考えられる居宅サービスは3つです。

①介護サービス系

訪問看護、介護、ホームヘルパーなど色々あるのですが、出題されるとすれば、その介護ステーション（事務所）のみです。

②通所サービス（デイサービス）

日帰り介護サービスです。シルバー系の過去問題には全て出題されています。

10時頃集合で15時解散の予約制高齢者介護クラブだと思っていただければいいかと思います。

③短期入所サービス（ショートステイサービス）

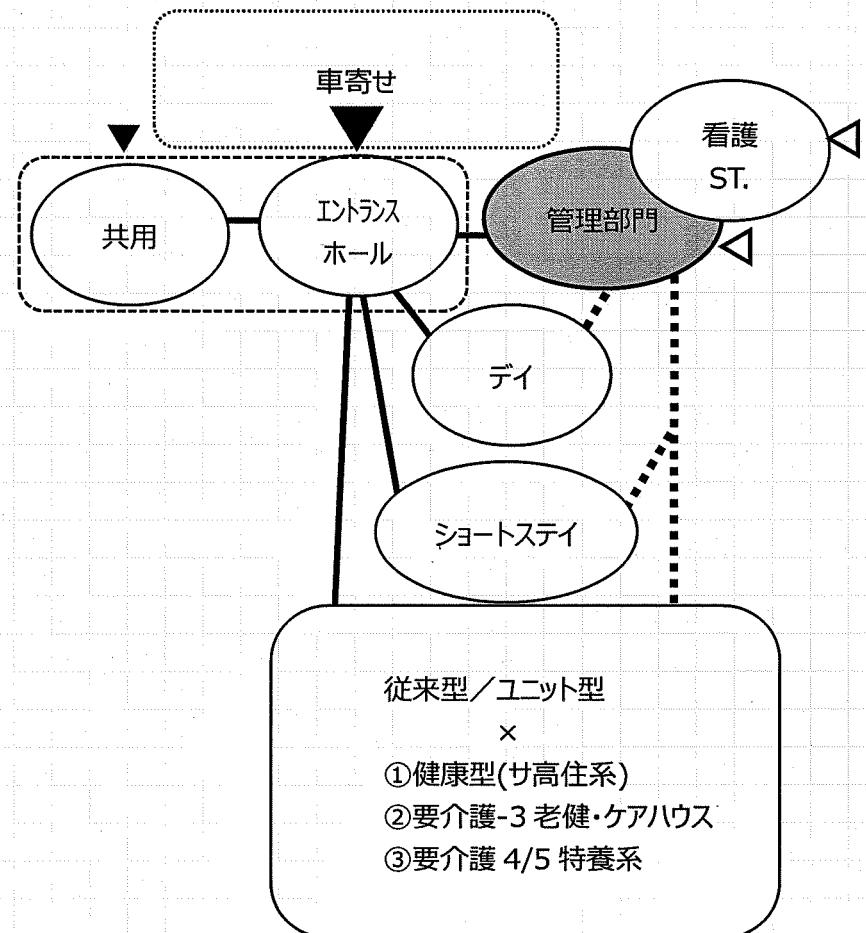
家族が何らかの事情で居宅介護できない場合に、短期間施設入所を行う介護サービスです。積極的には家族が旅行や出張で介護できないケースから、家族の介護疲れや介護休養のためにショートステイを利用することもあります。

9つの居住施設

特別養護老人ホーム/介護老人保健施設/養護老人ホーム/軽費老人ホーム（ケアハウス）/介護付き有料老人ホーム/住宅型有料老人ホーム/健康型有料老人ホーム/サービス付き高齢者住宅(サ高住)/グループホームの9種類が考えられます。老健、サ高住は出題済み、グループホームは規模感が異なるため、**特別養護老人ホーム、軽費老人ホーム（ケアハウス）、有料老人ホームの3種類に絞られると考えられます。**

またそれぞれは似通っており、大きくは通常型（4人室ベース）かユニットケア型（個室ベース）で分ければ、要求室の違いはあれど、それほど大きく変わらないです。

→ただし念のため、サ高住系（h27）は押さえておきましょう。



2-2:居宅サービスの部門と要求室

①介護サービス系

介護サービスは、訪問介護ステーションという名前の事務室が必要です。メインエントランスと別のアプローチであるべきですが、出題されるのは単機能施設ということから考えると指定なき限り、エントランスホールに面しているか、管理部門内に設けます。

5m²～10m²/職員をベースとします。独立性を高めている場合は、更衣、休憩、便所を別途設けます。また介護サービス用の駐車場、駐輪場が必要になるケースもあります。

②通所サービス（デイサービス）

利用者ゾーン

機能訓練室：1m²以上/利用者、計画としては4m²/人程度

主に利用者の機能訓練を行うが食堂と一緒に使われることが多い。

レクリエーション室：1m²以上/利用者、計画としては4m²/人程度

食堂・食事室：2m²以上/利用者、計画としては4m²/人程度

利用者の食事室。機能訓練室他と一緒に使われることが多い

調理室：食堂と同等の大きさでレイアウトには便所、食品庫、休憩スペース込み

施設全体の調理室を兼ねることもあり、リフト（小荷物専用昇降機）を使うこともある

浴室

一人ずつ入る個別浴と順番に集団ではいる集団浴がある。

集団浴は、機械浴・介助浴・一般浴・脱衣室・休養室等からなる

脱衣室：1人+介助で使うタイプと集団で使うタイプがある。脱衣室内部もしくは近くには便所、汚物処理室、洗濯室を計画しておくといい。

休養室

入浴サービスの利用者が入浴前後に休養を取るための室として設定することが多い。

便所・汚物処理室・洗濯室

便所は介護度が低い場合は男女別、高い場合は車いすブースのみとする。

汚物処理は主に排泄によるおむつと衣類等のヨゴレであり、汚物処理室及び洗濯室はその処理のために浴室及び便所の近くに計画することが望ましい。

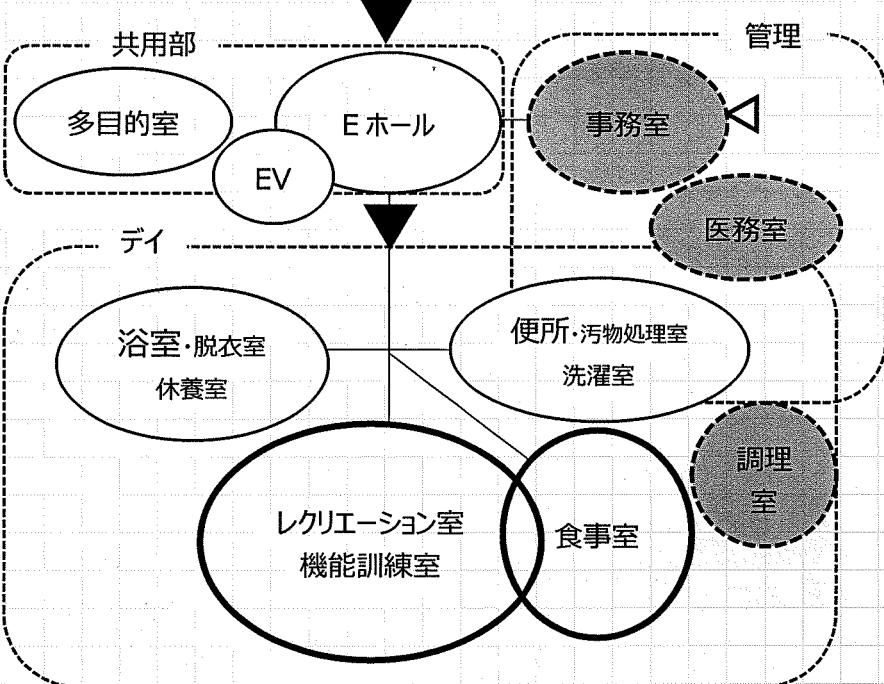


図4-41 ◆ゾーニング計画の例（逗子市デイサービスセンター） 1/600

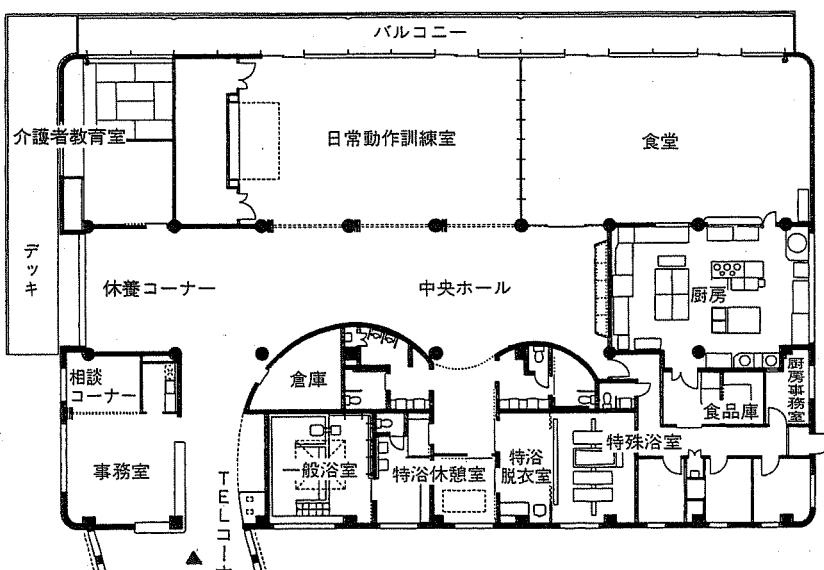


図4 | 重症心身障害者の浴室平面図 [E4 ぶれいすBe] 1 / 100

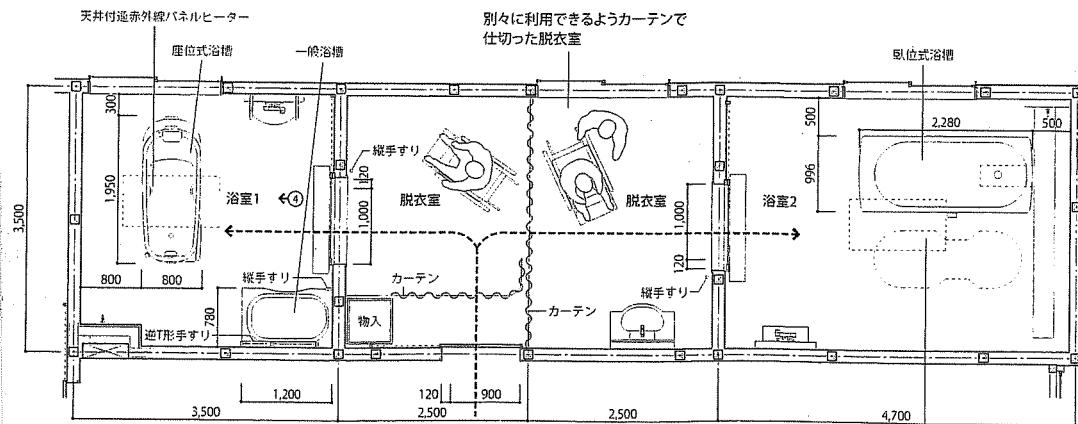


図4-11 ◆洗浄コーナーの例 (老健なんぶ) 1 / 100

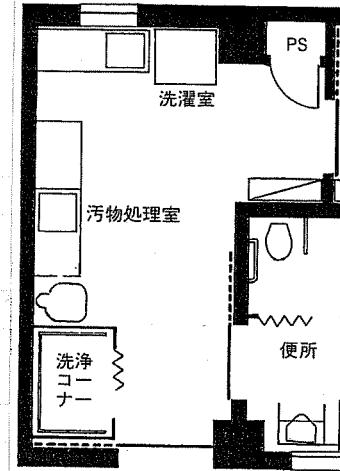
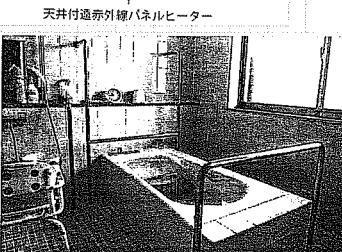
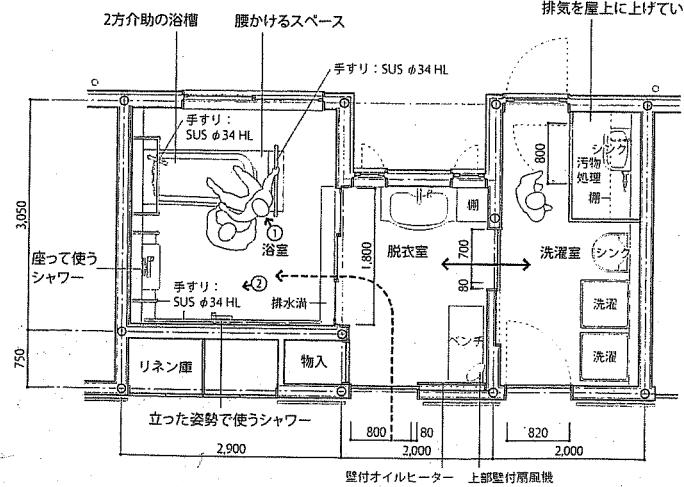
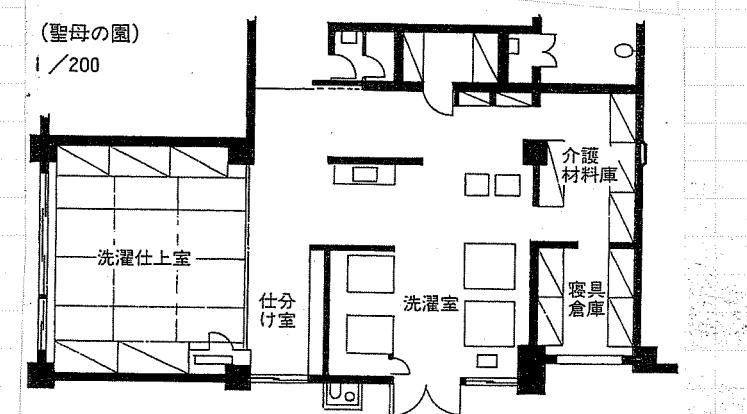
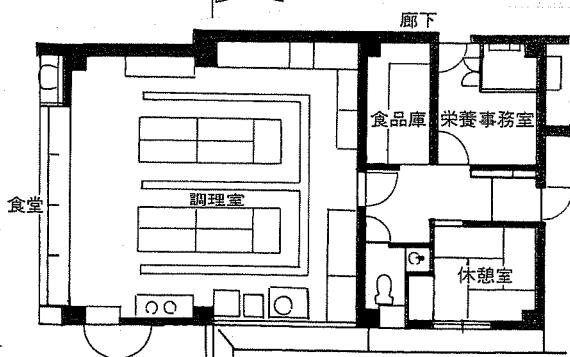


図1 | 認知症高齢者の浴室平面図 [E2 いすみ池上の里] 1 / 100

(聖母の園)
1 / 200

1 / 200



介護者関連ゾーン

会議室・研修室（介護者教室）

大規模で行う頻度は低く、介護者教室などを兼用する。多目的室等との兼用も可能。

多目的室

地域住民への各種研修などにも利用できるよう通常出入口に近い位置に配置。

管理者ゾーン

事務室：5m～10m²/人

施設管理、受付、利用者相談、会計などの窓口業務、他デイサービス・運転手の控え室などを兼ねる。

職員関係諸室：1コマ程度

応接室、休憩室、更衣室、ロッカー室、便所、洗面、湯沸室等。事務室でコーナーで兼用することもある。

その他：

医务室、健康相談室、相談室、等、利用者から離した方がよい諸室については管理者ゾーンに配置。問題文に合わせて解答すればよいかと思われます。

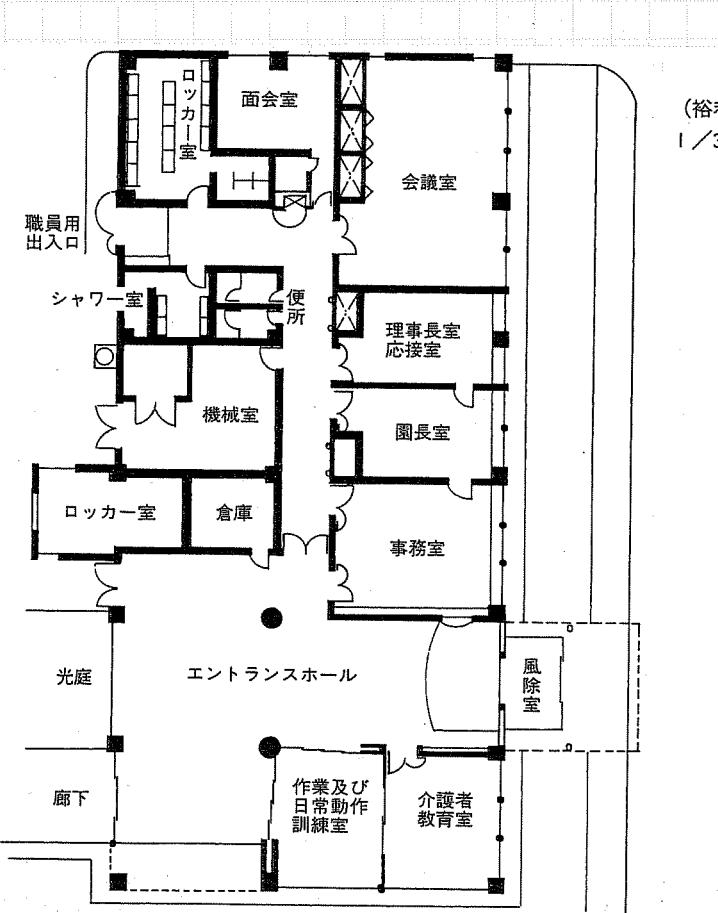
設備機械室

空調機械室、外気調整機械室、ポンプ室（消火ポンプ室兼用）、ボイラー室（貯湯槽込）、等が考えられる。→設備計画参照

③短期入所サービス（ショートステイサービス）

ショートステイは、将来、居住施設に入所するための橋渡しのような位置付けもあり、デイサービスの延長線上もあります。介護度は要介護3までとなっており、介護度は軽いですが、室の形式や考え方には、ほぼ居住施設と同じと考えてよいでしょう。

また短期入所であるため、4人室という選択肢が多いのですが、近年は、ユニットケア型で個室となってきていますので、居住施設の章で解説しましょう。



2-3:居住施設とは

居住施設と出題範囲

おおよそ以下の9種類4種に分けられる。

うちケアハウス、特養、有料老人ホームは、ユニットケア型（黄色）が増えつつある。

要介護度	自立 (要支援1・2)	介護必要 (介護1・3)	介護絶対 (介護4・5)		
公的サービス	軽費老人ホーム（ケアハウス）	特別養護老人ホーム			
有料老人ホーム	健康型 有料老人H	住宅型有料老人ホーム			
	介護付き有料老人ホーム				
住宅(サ高住)	H27サービス付高齢者住宅*3				
別カテゴリ	H23介護老人保健施設（老健）*2 養護老人ホーム*1 グループホーム*1				

*1 養護老人ホーム、グループホーム等は別カテゴリで出題範囲からは少し離れる。

*2 老健はh23に、サ高住はh27に出題されているため、出題可能性は低いが、目を通しておくだけの価値はある。老健は、特養の医療ケアがついたようなものでなおかつ半年以内くらいに自宅復帰をめざす施設です。

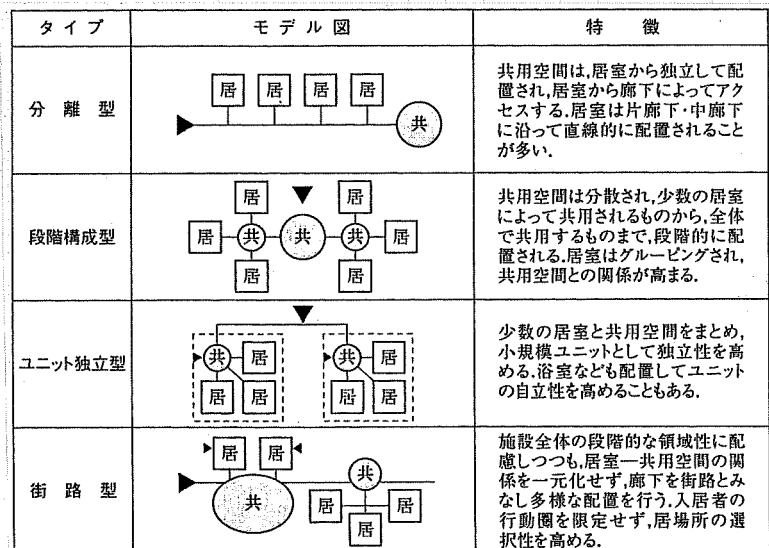
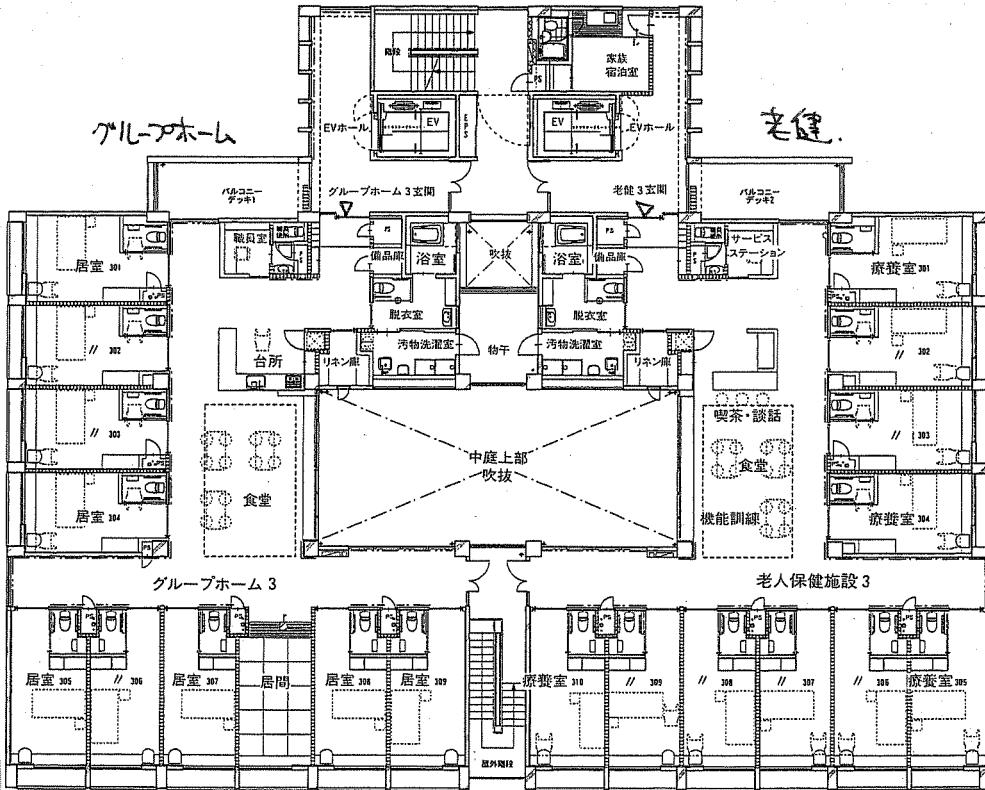
*3 サ高住は、集合住宅型とユニットケア型があり、ユニットケア型はほぼ住宅型有料老人ホームと同じと思っていいでしょう。ただし h27は単に集合住宅に近い形式でした。

従来型

従来型とは4人以下の多床療養室に、まとまった大きな共用スペースがあるようなタイプである。現在主流ではないが経済性が高く、一定のニーズがある。

ユニットケア型

10名前後の個室をひとつのユニットと考え、共同生活室（共同リビング）を中心とした生活空間の構築を行うもので、原則個室となっている。



居住部分の空間配置パターン [6]

2-4:居住施設の部門と要求室

従来型

従来型は、デイサービスに宿泊機能を設けた構成となるため、ショートステイプランと酷似する。ただショートステイが一時利用なのに対して、居住施設はそこに居を移すこととなる。

プランとしては、I型から始まり、口の字型まで展開する基準階パターンを反復練習し、自在に使えるように暗記しておく必要がある。

ユニットケア型

ユニットケア型は10室程度の個室群+共用リビングからなる集団生活の家、のようなケアスタイルを実現する型である。

ユニットを超えて一堂に会する空間をユニット内には作らず、あくまで10室程度のコミュニティを作っていくケア方式である。したがって構成は住宅に近く、住宅をイメージすれば理解も深まりやすい。

居室(療養室)

ユニットケアは全て個室であるが、夫婦室を設けることもある。

- ・面積：トイレ部分を除き10.65m²以上とする。
- ・出入口はストレッチャーの出入りを考えて120cm程度とする。
- ・便所は1,1x2,3程度とし片側ドア開放とする。(2x2は不要)
- ・ベッドは縦置きでも横置きでもできるレイアウトとする。
- ・その他、洗面、冷蔵庫、テレビ、収納スペースが最低限必要。
- ・バルコニー、廊下セットでのパークで理解し覚えておくこと。

共同生活室(共同リビング)

ユニットの中心部で、キッチン、食堂、リビング(LDK)機能を担う。広さは2m²/人以上。

- ・住宅のスケール感を失わないこと。一番長く滞在する室となる。
- ・採光通風眺望。外気が取り込め、景観が楽しめるような配置(南側、公園側等)
- ・食事運搬動線に配慮する。
- ・キッチンはオープンキッチンでカウンター型とし、配膳の他、スタッフの作業スペースとする。

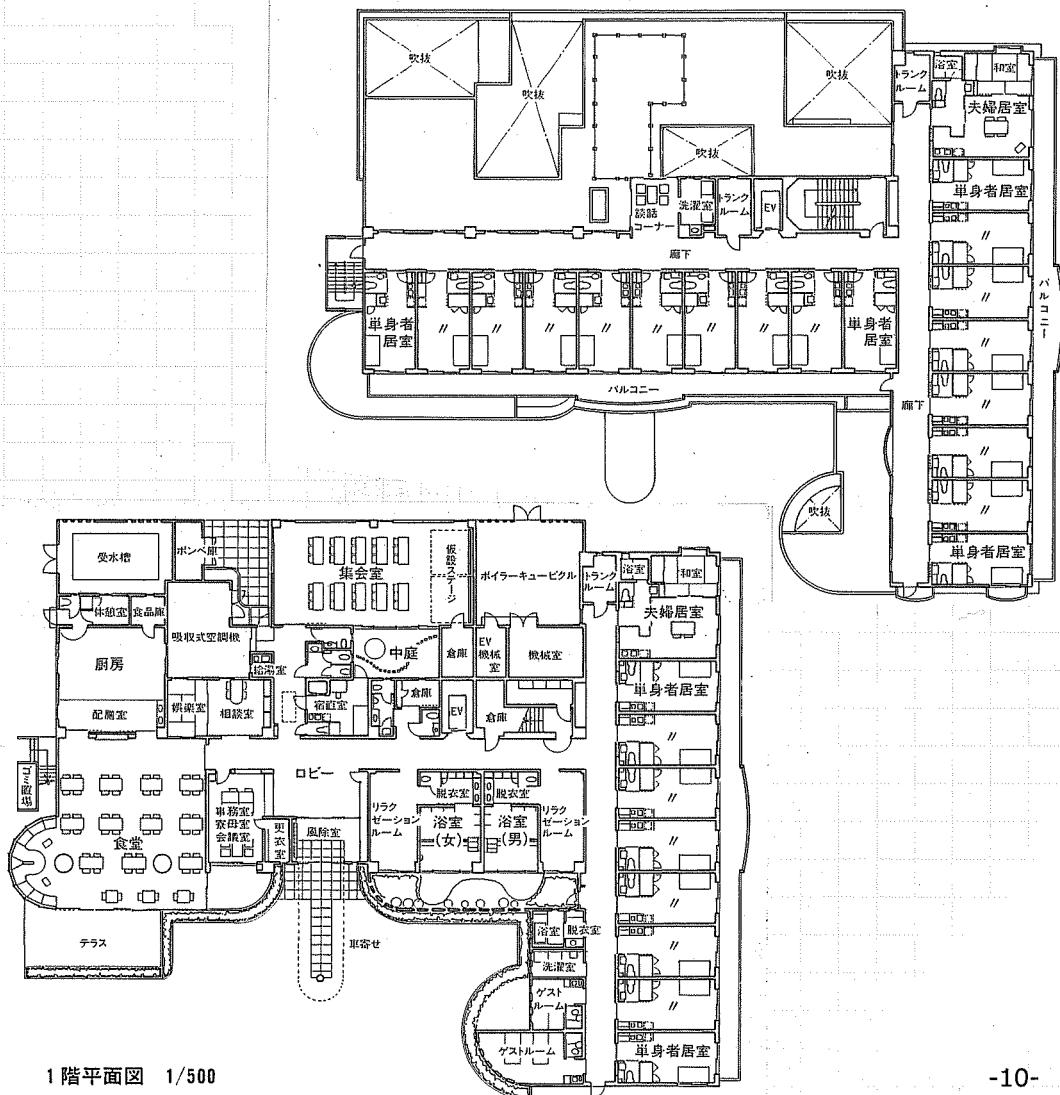
浴室

個別浴と、ユニットに最低1ヶ所設ける。介助を前提とした浴室スペースとする。

機械浴、介助浴のしくみも1フロアに1ヶ所程度ある方が望ましい。

浴室近くには脱衣室、便所の他、汚物処理室、洗濯室、休養室があることが望ましい。

脱衣室は介助者含め2人が自由に動ける程度必要である。



共通事項

廊下

手すりを設け、手すりを含む内法寸法が片廊下 1.8m 以上、中廊下 2.7m 以上となっています。（ただし、ユニットケアについては廊下の一部の幅を拡張することにより、入居者、従業者等の円滑な往来に支障が生じないと認められる場合には、1.5m 以上（中廊下にあっては 1.8m 以上）とすることができる。）であるので、**単純にいつもの通り、利用者ゾーンは芯々2.5m 以上、管理者ゾーンは芯々2m で計画すればよいです。**

階段

階段の規定が厳しいです。特養、介護型有料老人ホームは以下の条件を満たしていないと 2 階建てまでしか建てられません。（h23 老健は 2 つの避難階段のみ）逆に読むと 3 階以上にするなら次の条件のいずれかを満たす必要があります。（東京都福祉保健局）ちなみに老人福祉法ではイのみが記載されています。

設置基準 11 条 5

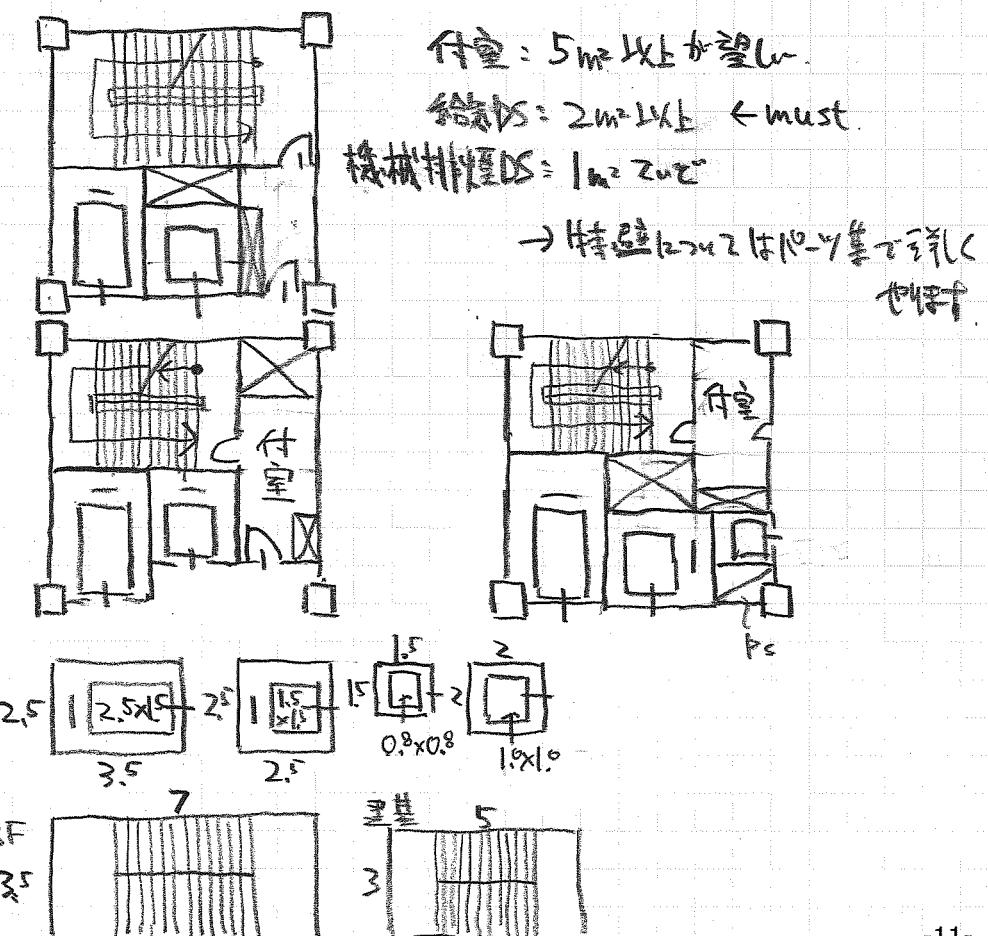
1. 居室等のある 3 階以上の各階に通じる特別避難階段を 2 以上（防災上避難等に有効な傾斜路を設ける場合又は 車椅子若しくはストレッチャーで通行するために必要な幅を有するバルコニー及び屋外の避難階段（同条第 2 項に規定する避難階段をいう。以下同じ。）を設ける場合は、1 以上）設けること。

○特別養護老人ホームの設備及び運営に関する基準

https://www.mhlw.go.jp/web/t_doc?dataId=82999413&dataType=0&pageNo=1

EV

- ・ストレッチャー対応を考えて、メイン EV は寝台用でバリアフリー-EV としたい。（シャフト 3.5mx2.5m）
- ・中層になるのであればメイン EV は 2 基設けたい。メイン EV とサービス EV があるよりも、メインが 2 基で対応した方が使い勝手がよい。
- ・サービス EV は、食事関係の物用と、汚物処理用は本来分けたい。という前提で考えると、
- ・**メイン EV に寝台 EV+バリアフリーEV2 基、サブ EV なしで、食事用と汚物用の小荷物専用昇降機を 2 基が最もリッチな標準設定。いずれにせよバーツ化不可欠**



バルコニーと滑り台（避難器具）

厚労省・消防からはバルコニーの設置が求められています。落下事故がないよう掃き出し窓の出入口は自動火災報知器連動の電気錠とします。

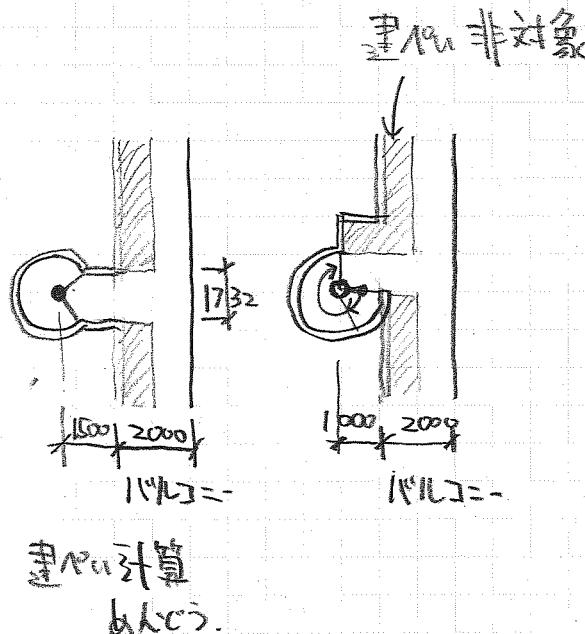
屋外避難階段との接続は必ずしも求められていませんが、特養や介護付き有料老親ホームではバルコニーを4周回してかつ屋外避難階段とつなぐことを基本とします。

避難器具については、消防設備設置基準表（6）項目・ハにあたるため、全周バルコニーから滑り台等の設置が求められていますが、消防協議によります。ですのでこれについてはh15の保育所の滑り台同様出題されたら描かねばならない可能性があります。

試験としては、回転タイプの滑り台だけは押さえておきましょう。

参考：札幌市 消防用設備等 設置基準早見表

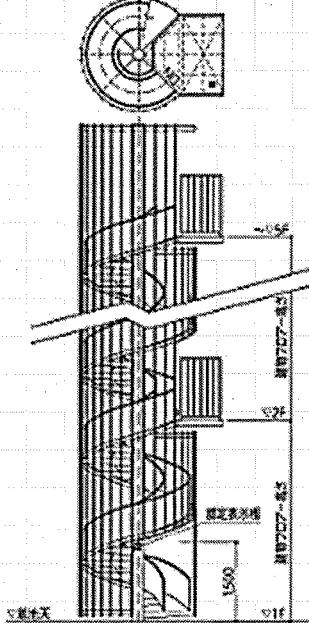
https://www.city.sapporo.jp/shobo/yobo/setsubi/setsubi/documents/syoubouyousetubitou_settikijunnhayamihyou.pdf



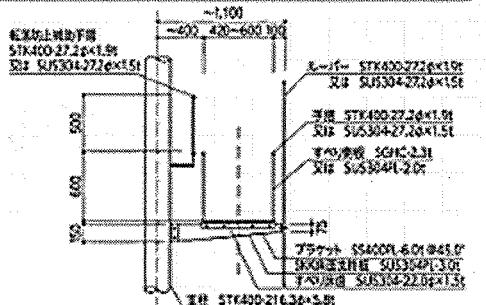
SL-W型 ルーバー付 スチール製
(ペリスチール・ステンレスタイプ)



SL-W型 ルーバー付 姿図



SL-W型 ルーバー付断面詳細図



※条件に合わせて設計させて頂きます。

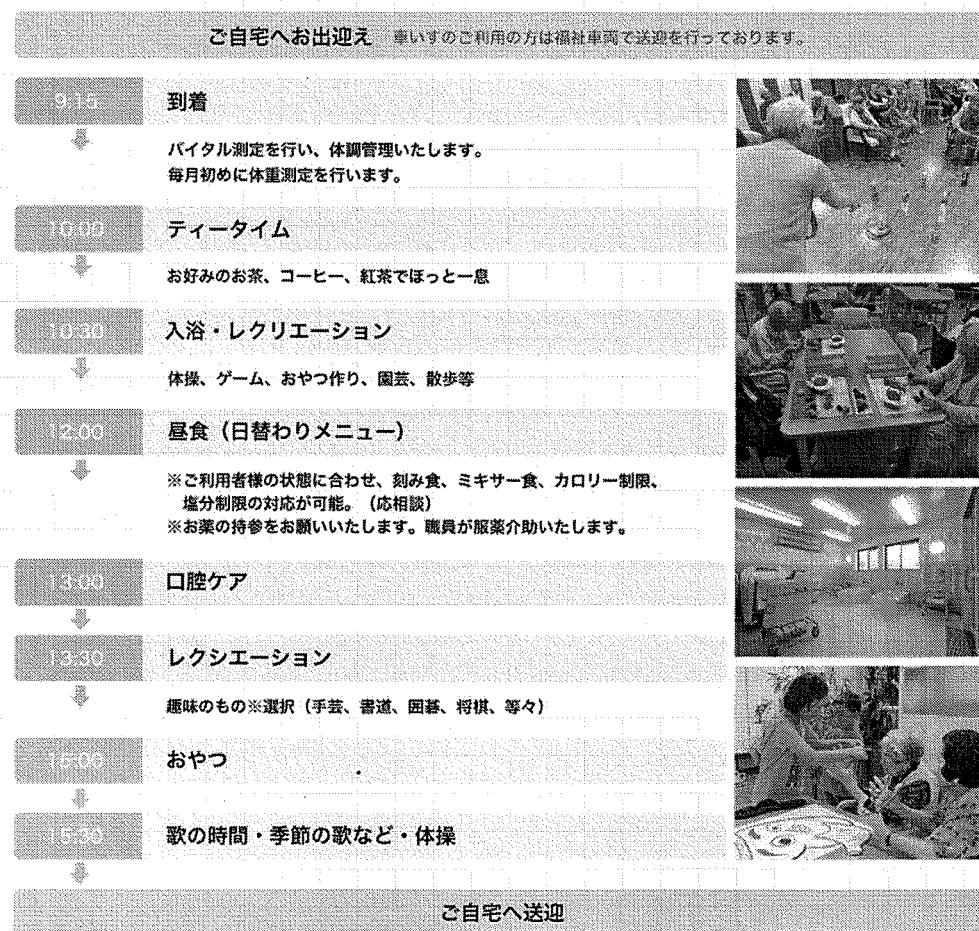
作成資料掲載の写真は無断で
お譲り頂く事はございません
ください。

SKK 山陽建工株式会社

cf:施設での一日

「住宅は住むための機械である」という言をまたずとも、高齢者の1日がイメージできていないとその機能が理解できません。

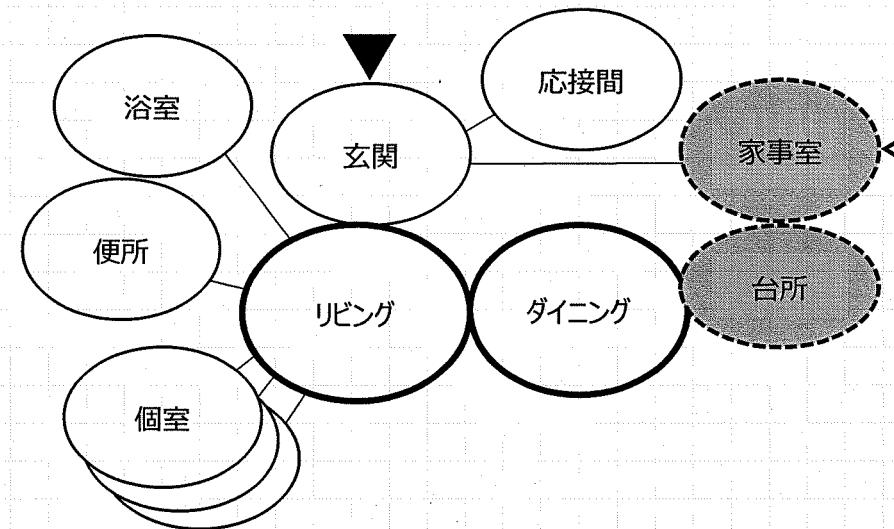
以下は典型的なデイサービスの1日のフローです。ショートステイや特養なども調べてみてください。<https://www.sunnylife-group.co.jp/dayservice>



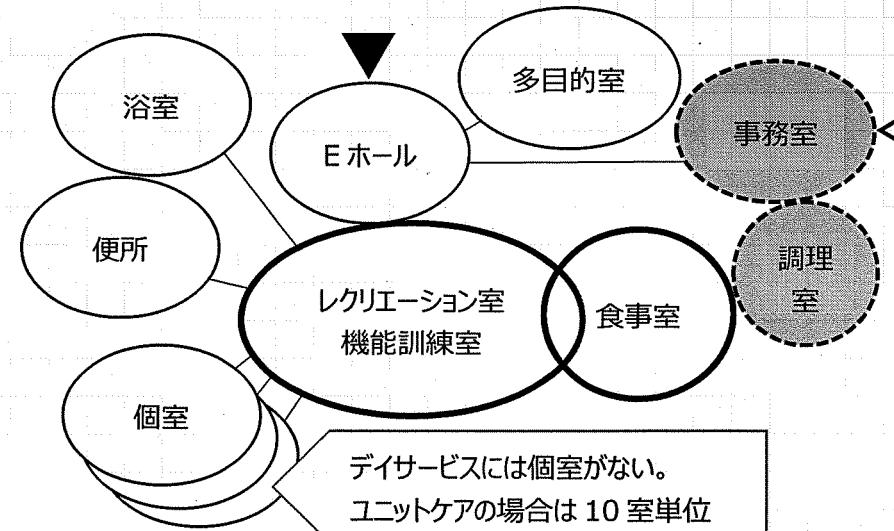
cf:住居としての高齢者介護施設

住居の延長としての「居住施設」「居宅サービス」と考えるとプランは理解しやすくなります。

住宅



高齢者介護施設



3本年度課題のポイント整理

3-1:全体構成

まず、本年度の出題は、「高齢者介護施設」で「居宅サービス」「居住施設」からなるとあるが、何がどう計画されるのか、また何階建てなのかも不明です。そのため、事前に想定しておく必要があります。

特に1階に高齢者介護施設以外が要求される可能性、高齢者施設での4階以上の出題の可能性は残されています。

■出題される可能性のある居宅サービス

看護ステーション、デイサービス、ショートステイサービス

■出題される可能性のある居住施設

サ高住、健康型有料老人ホーム

ケアハウス、老健、住宅型有料老人ホーム、

特養、介護付き有料老人ホーム

住宅外廊下型

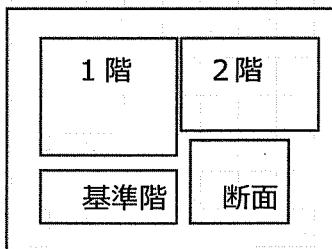
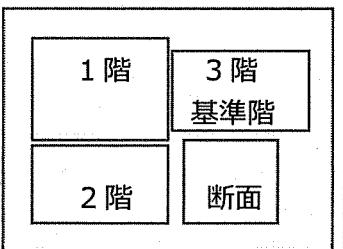
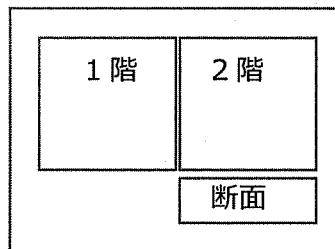
軽度介護型 × ユニットケア型

重度介護型 従来型

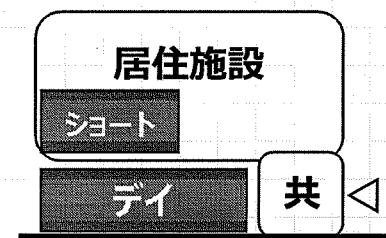
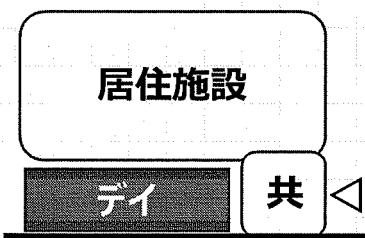
■出題される可能性のある階数

2階、3階、4-5階、6-7階

■出題される可能性のある図面レイアウト

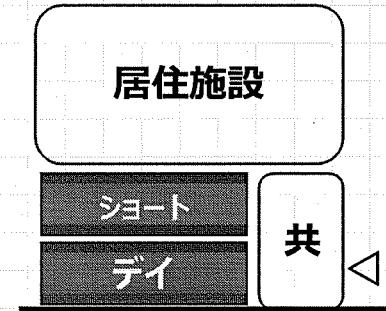
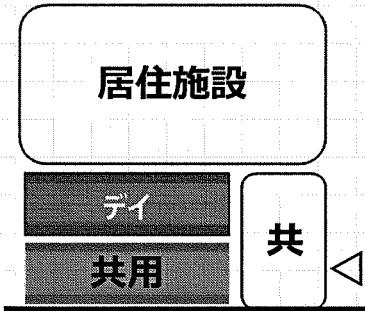


□2-3階居住施設



ノーマルな出題

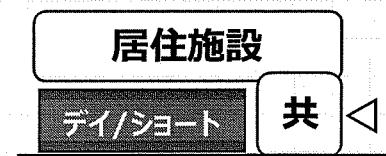
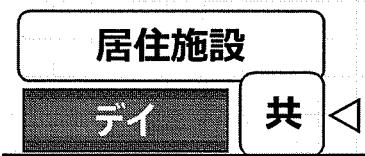
□3階～居住施設



H27型

H11型

□2階建て



6x6=36コマ以上になるため、慣れないスパンとの戦い

3-2:ユニットケア型と従来型

従来型とユニットケア型の違い

従来型は、居室階と非居室階に分かれた構成を取ります。居室階には、食堂や浴室は設けません。積層することで詰め込む効率重視のタイプで4人室が主流でした。

計画としては居室数によって、I型から始まり口の字型までのパターンを覚え込むという学習方法になります。

一方、ユニットケア型は10人程度（この程度というのが嫌ですが）をひとつのユニット単位として、計画する手法で、生活重視1人室が基本（夫婦室あり）となります。特養の場合で考えれば、従来型4人室は付き8万円程度、ユニットケアの個室では13万円程度となり、5万円程度の差があります。

従来型で押さえておくべきこと

したがって従来型は、居宅サービスのデイやショートステイと同様のプランを持つ共用部があるため、受験勉強としては、その機能+宿泊階だけ押さえればよいでしょう。

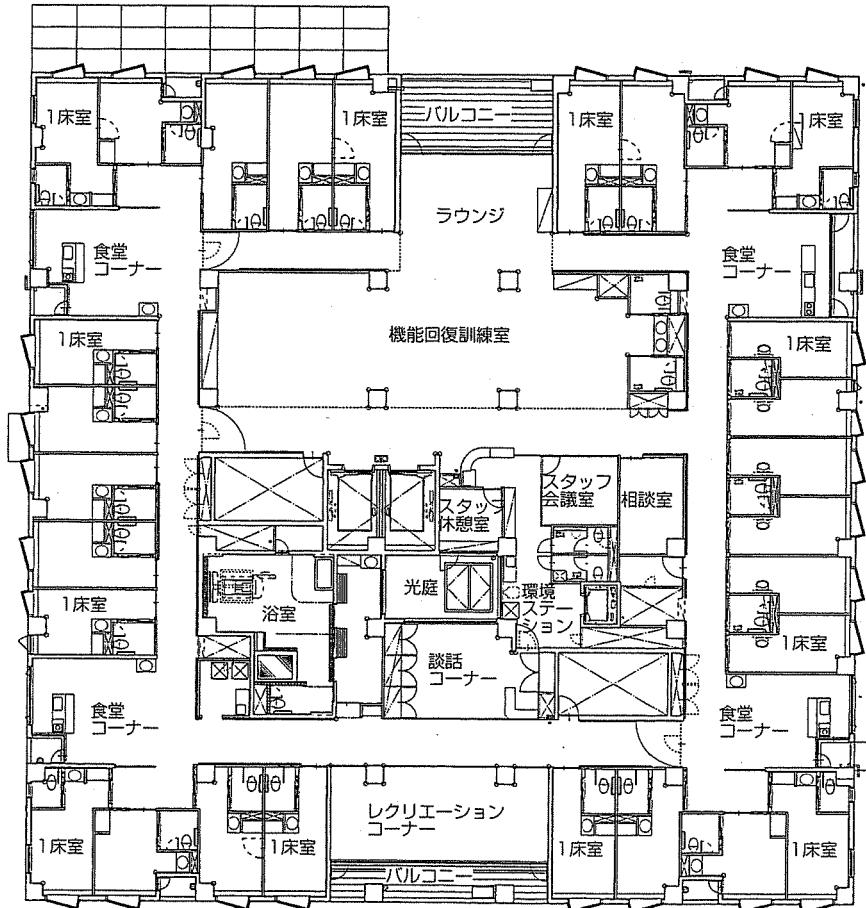
ユニットケア型で押さえておくべきこと

これから勉強する方にとっては、ユニットも従来もないでしょうから、単にユニットケア型はユニットケア型として覚えればよいです。

その際、大体8室～10室を押さえておくこと、そして1ユニット/階、2ユニット/階、そして3ユニット/階のパターンを押さえておくことが重要になります。

両型で重要なのが居室

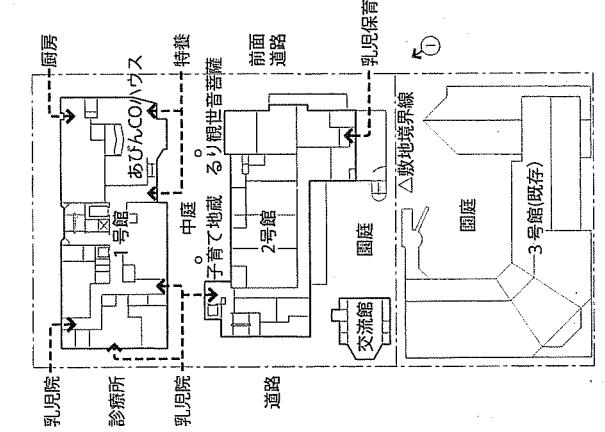
いずれにせよ、重要なのは、バルコニー-居室-廊下-ユーティリティゾーンのセットです。この部分についてはスパンとセットでパート化しておくことは必須です。



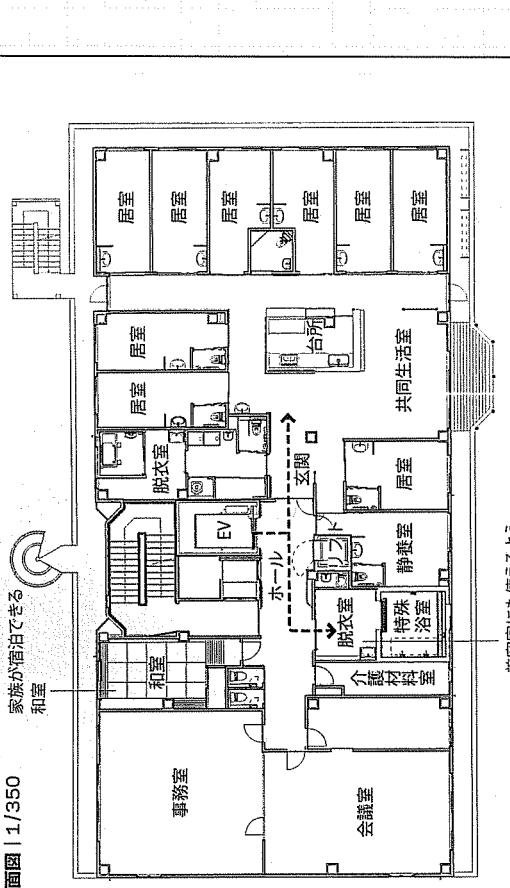
(シーダ・ウォーク) 1/400

設計 トシ・ヤマサキまちづくり総合研究所+楠山設計

配置図

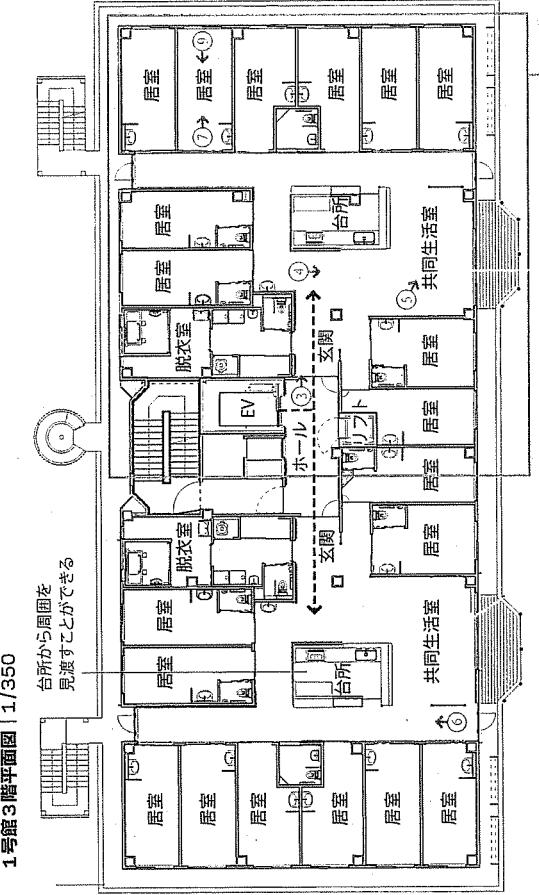


1号館1階平面図 | 1/350

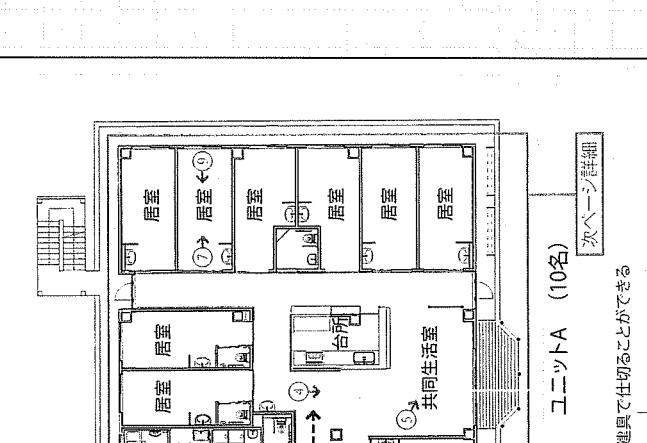


1号館4階平面図 | 1/350

1号館3階平面図 | 1/350

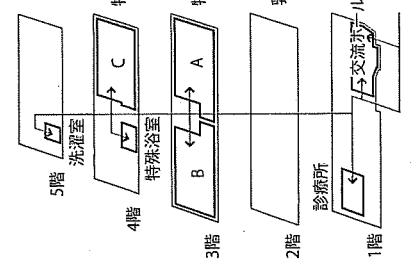


1号館2階平面図 | 1/350

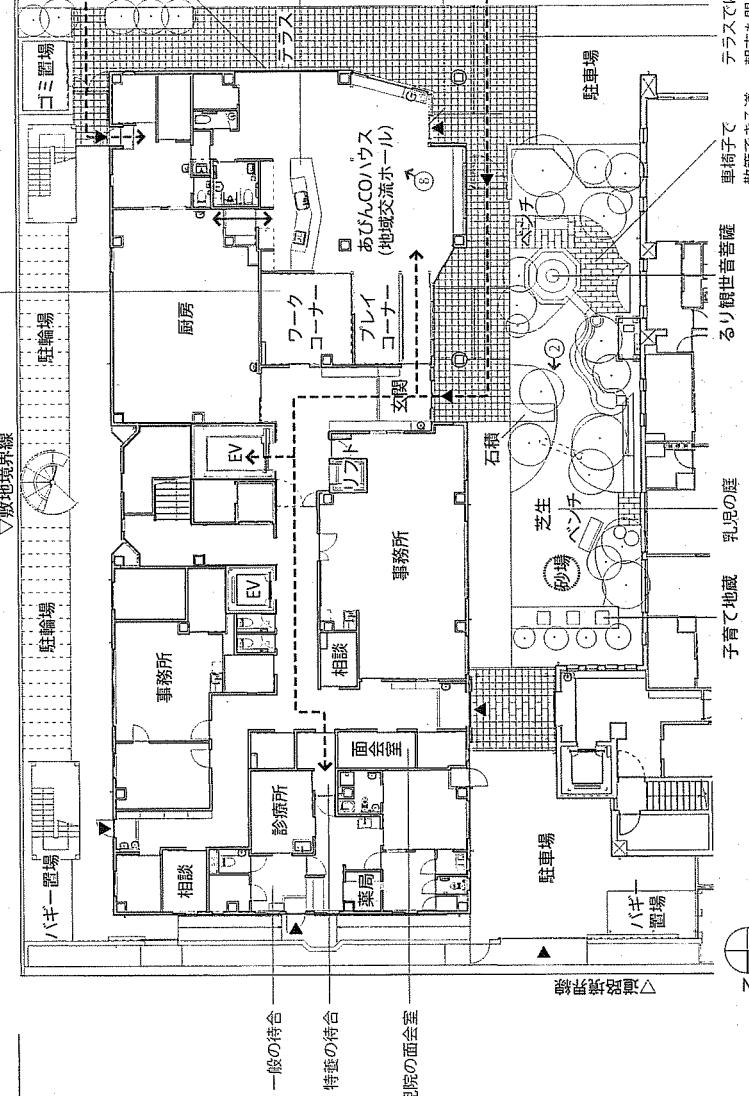


1号館1階平面図 | 1/350

計画のダイアグラム(1号館)

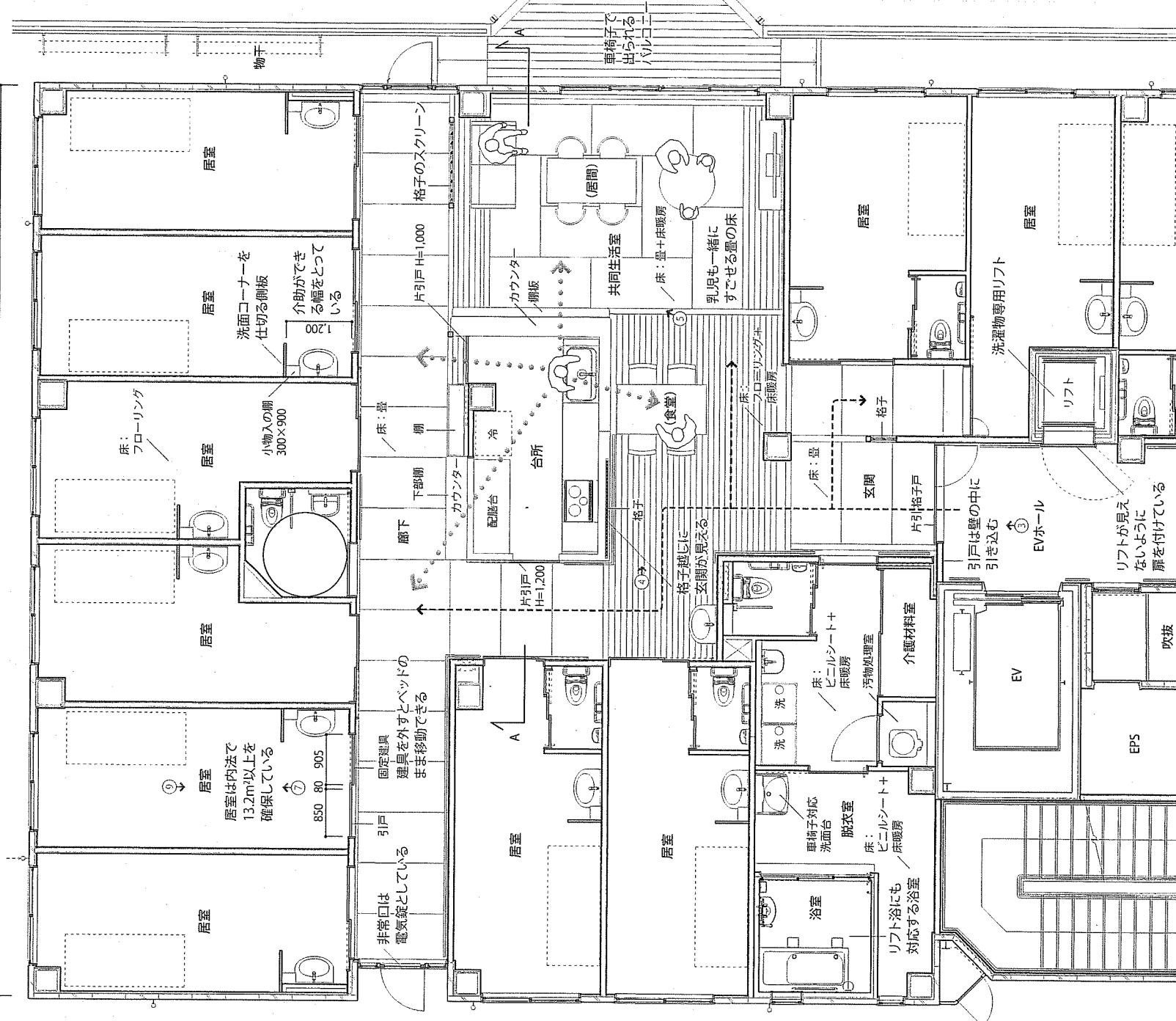


1号館1階平面図 | 1/350



3階特養ユニットA平面図 | 1/100

16.350



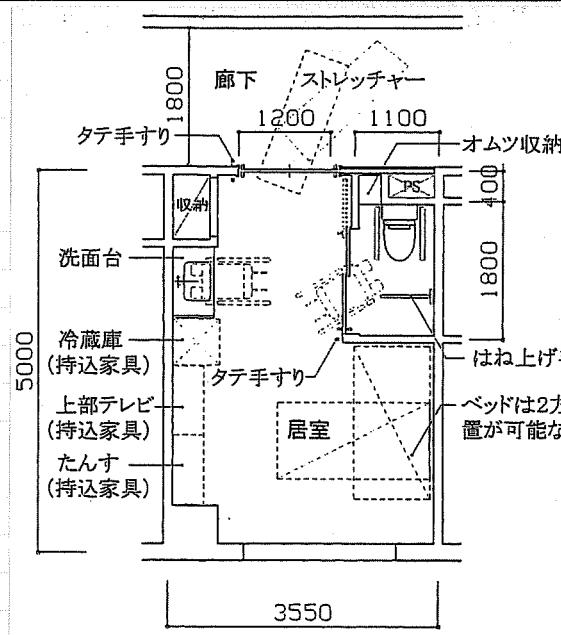
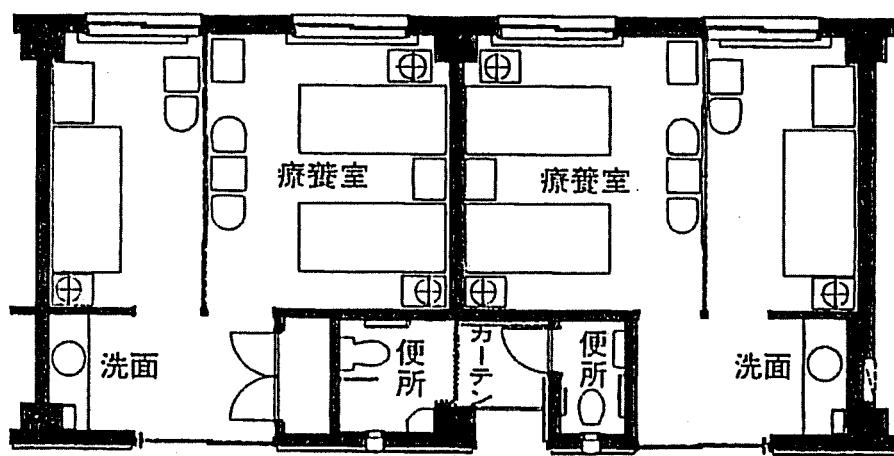


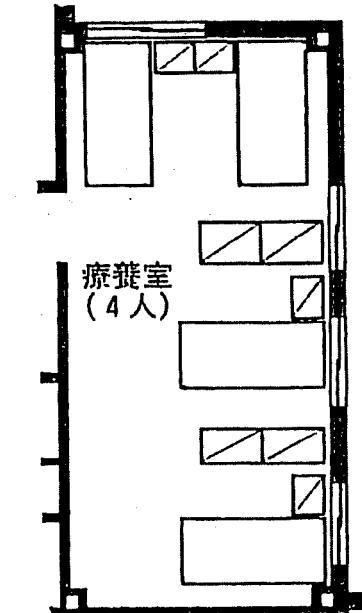
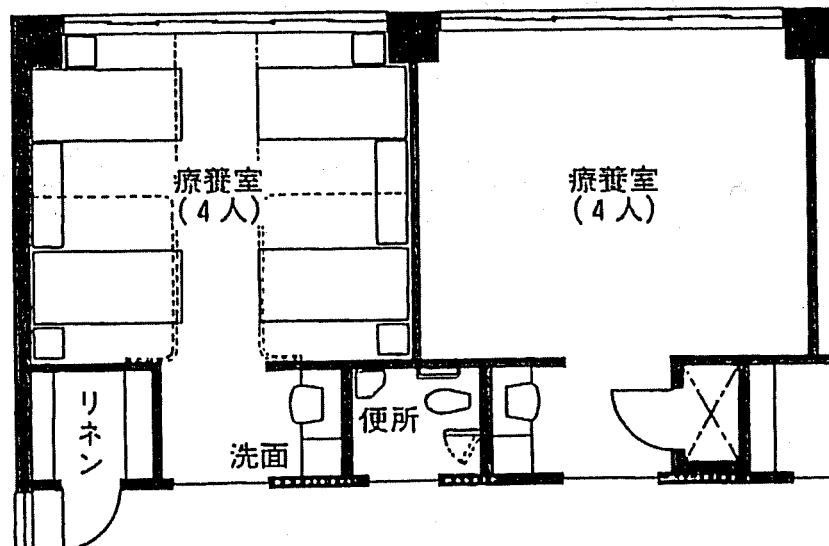
図-3 居室の参考例 1/100

(きんもくせい) 1 / 100

図 4-8 ◇ 2人室の例



(豊齢ホーム) 1 / 100



用意事例

3-3:その他押さえておきたいこと

介護度で異なる避難計画

前項までのように建築物としての大きな違いは、従来型なのかユニットケア型なのかということがあります、本年度課題では、介護度の軽重で避難に対する計画が変わります。

恐らく本試験では、その法的要件も出題されるとは思いますが、知っておかないと計画することができませんので押さえておく必要があります。

ただし本稿で扱うのは製図試験で出題される程度のレベルです。

各階を特定防火設備で面積区画する前提とします。

特別養護老人ホーム+介護付き有料老人ホームクラス（要介護5までの施設）

3階以上に居室がある場合は、原則、二直階段は特別避難階段とすることになるが、

	特別避難階段	バルコニー+屋外避難階段
A：特避2ヶ所パターン	2ヶ所以上	なし
B：特避+バル屋外避	1ヶ所以上	1ヶ所

上記条件の元、B案でユニット毎を防火戸で区画すれば、避難器具は免除される。

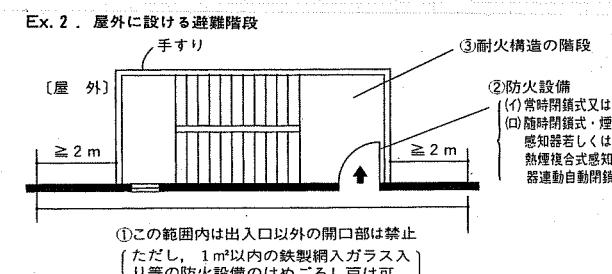
ケアハウス、老健、サ高住老人ホーム型（要介護3までの施設）

二方向避難の階段を両方とも避難階段とする。バルコニー有効150cm以上*を設ける。（東京都条例）

避難器具（滑り台や救助袋）必須だが利用者が20名未満であれば緩和規定あり

サ高住（住宅型）、健康型有料老人ホーム（健康～要介護1程度）

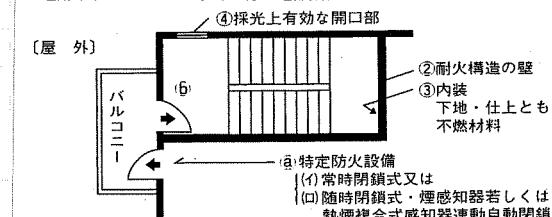
ほぼ一般の集合住宅と同じと考えて大丈夫



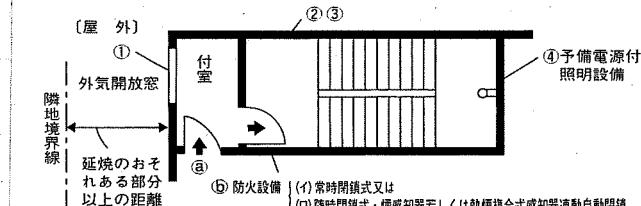
特別避難階段と屋外避難階段（申請により）

●特別避難階段の構造

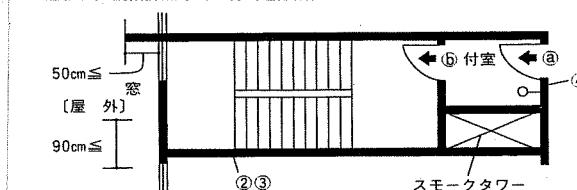
Ex. 1. バルコニー方式の特別避難階段



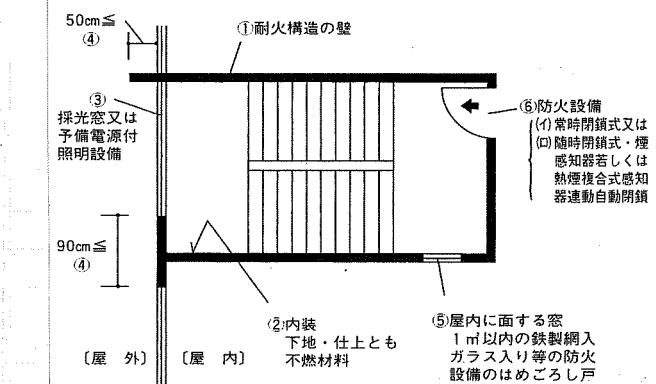
Ex. 2. 自然排煙方式の特別避難階段



Ex. 3. 機械排煙方式の特別避難階段



Ex. 1. 屋内に設ける避難階段



3-4:建築法規の7点

建築法規については次の7点を押さえておきましょう。

- ①建ぺい率
- ②容積率
- ③高さ制限
- ④建築物の外壁の開口部で延焼のおそれのある部分の位置及び防火設備
- ⑤防火区画（面積区画、窓穴区画）外部区画
- ⑥二方向避難
- ⑦敷地内通路 敷地内の避難上必要な通路

①建ぺい率

建ぺい率は70%以下だとオーバーする可能性があります。70%以下の場合は「オーバーを狙っている問題」と考えてください。庇は先端から1mバック分、屋外階段もタイプによりますが1mセットバックして建築面積に入れます。ピロティは全て入りますので注意してください。1階床面積≠建築面積ではありません。また敷地が2つの地域にまたがる場合は面積按分となります。

②容積率

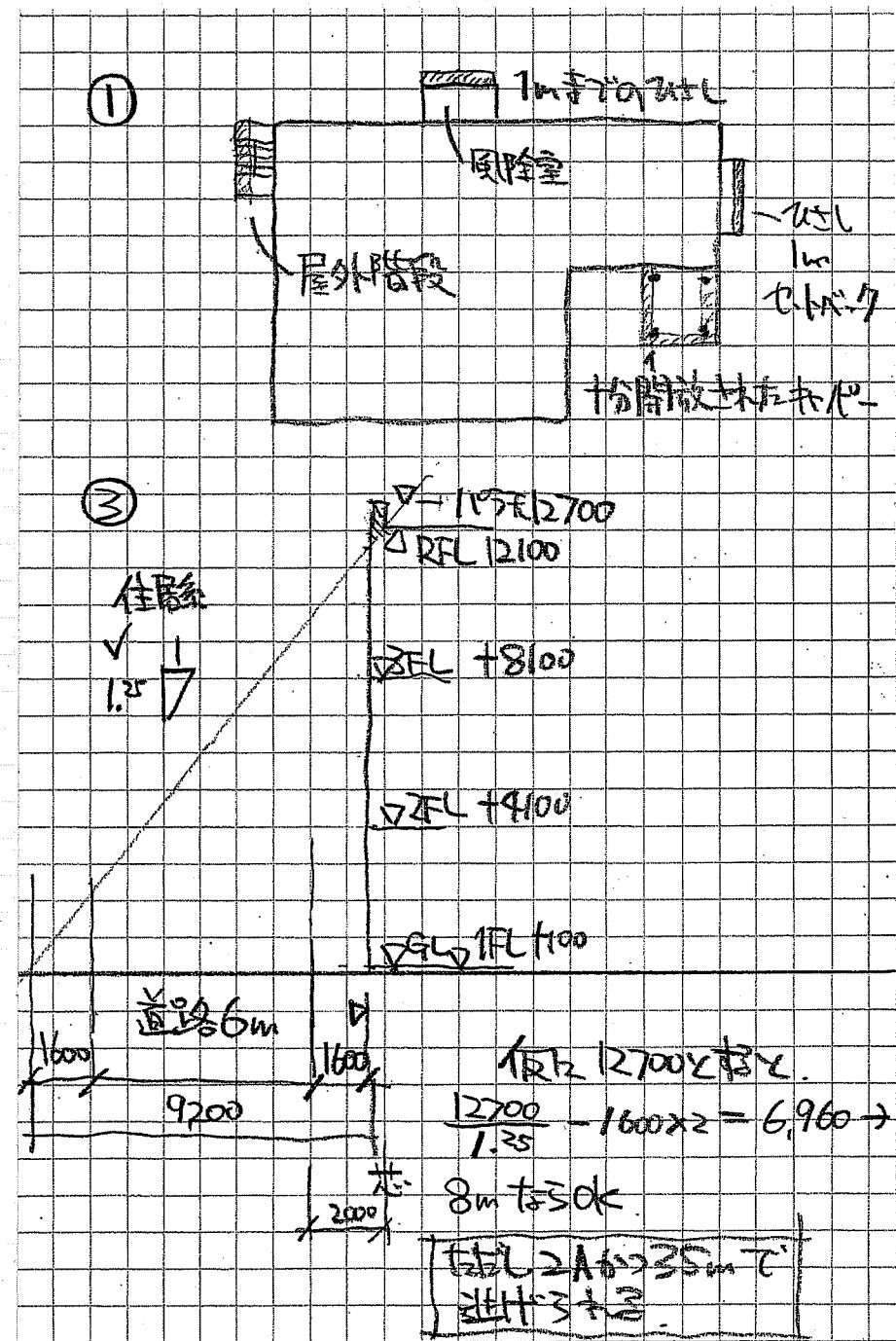
過去問題で容積率がオーバーした問題はありません。そもそも建築床面積範囲が容積率を超えない設定だからです。ただし法52条6ではEVシャフトは床面積には入れるが、容積率算定から抜くことになっています。さらに老人ホーム等は共用部を全て容積率から外すよう法改正があったため、本年度の積率は要注意です。

問題文では恐らくその部分の記述もあると思われますのでそれに従うこと。

③高さ制限

2点。ひとつは絶対高さ指定、ふたつめが道路斜線制限です。建築物が仮に3mセットバックだと柱が800角の場合、セットバック距離は2.6mで前面道路6mの場合 $(2.6+6.0+2.6) \times 1.25 = 14.0\text{m}$ （住居系の場合）となります。（塔屋は除く）。

本年度は屋外避難階段を設ける可能性があること、4階建て以上になる可能性があることからチェックはマストです（2Aかつ35mの緩和あり）。



④延焼のおそれのある部分の位置及び防火設備

準防火地域以上で、延焼の恐れのあると考えられる範囲が、道路中心線もしくは隣地境界線（公園・河川除く）から1階で3m、2階以上は5mで、この範囲の外壁の開口部を防火設備にすることが求められています。（建基法2条1項九の二号）。

⑤防火区画

面積区画

1500m²ごとに区画するのが面積区画で、吹抜けや上下階がつながる場合、特定防火設備による区画（防火シャッターですが、法的には特定防火設備といいます）する必要があります。

→吹抜けなら1-2階の2階部分。大空間などの見学コーナー部分も注意が必要

堅穴区画

2層以上の吹抜けとなる部分はまるごと建物から区画する必要があります。

→階段室、エレベーター（EVは自動扉そのものが特定防火設備になっています）

そして3層吹抜けの1-2-3階部分全て。特に1階を忘れないで。

また、1階の場合、必ず階段から外部に出るために、1階の堅穴区画には、ぐり戸が必要になるケースがありますので、避難ルートの確認が不可欠です。

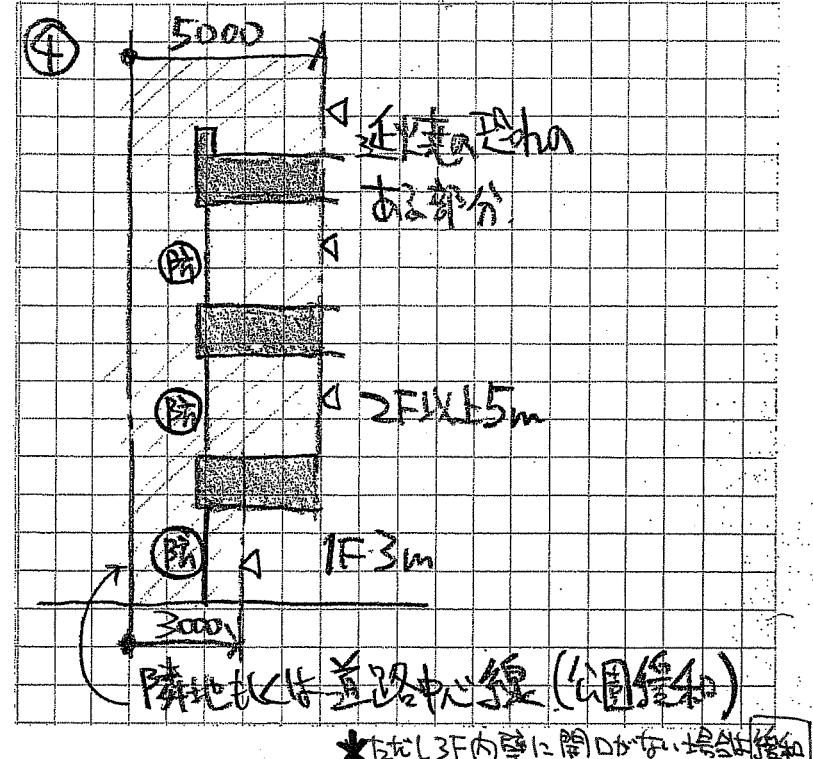
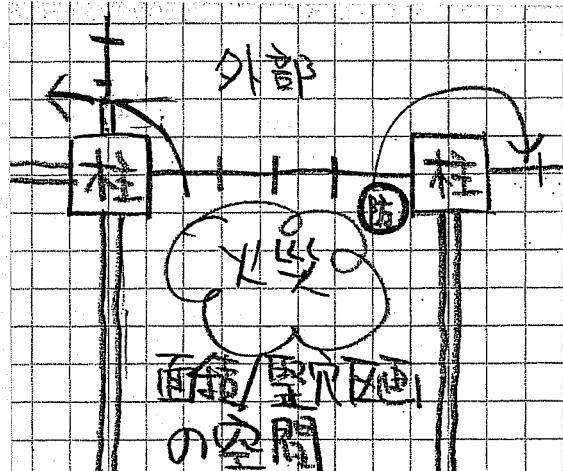
堅穴区画自体は防火設備で構いませんが、面積区画と兼用する場合が多く、防火設備による区画ではなく、特定防火設備となることが多いです。

尚、1階の2層吹抜け、3階に室内側に開口がない2階吹抜けのみ免除対象です。

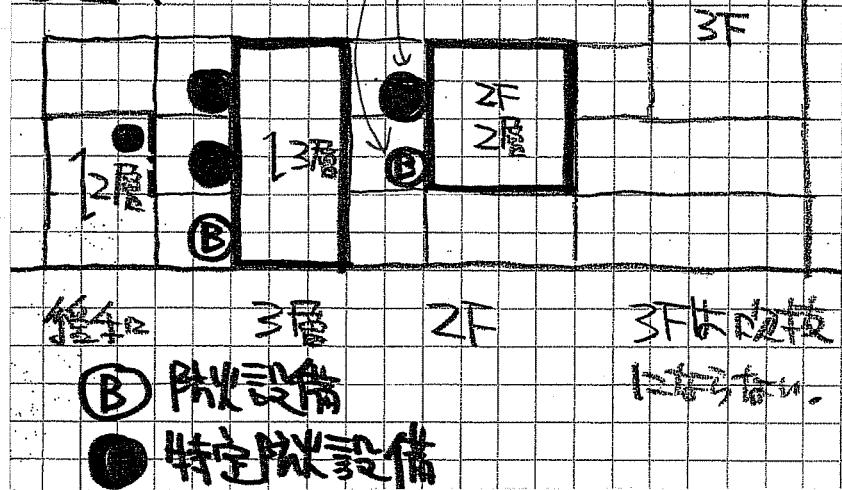
外部区画

防火区画に係わる外部は、炎が外部から隣室へ移らないようにするために90cm以上の壁もしくは防火設備

が必要です。面積区画、堅穴区画に係わる建築物の外壁部分は要注意です。



⑤堅穴



⑥二方向避難

2階3階からの出口は階段しかありません。二方向避難はその出口をどう確保するのかという建築法規です。

二方向避難とは、耐火建築物で内装不燃である場合、

- 1) 避難するひとつめの階段までの歩行距離が 60m 以内であること
 - 2) ふたつめの階段方向まで分かれるまでの重複距離がその半分 30m 以内とすること
- 理解しておいてください。

右記のような二方向避難モデルをイメージしておくことが重要です。二つのコア（階段）を廊下で結び、その廊下に室を配置すること。ひとつの階段を経由する場合は、必ずその先もチェックすること、です。

特に奥行き 5 スパンになると二方向避難の重複距離が 30m を超えやすいので注意が必要です。二方向が取れない場合は、躊躇なく 3 つめの屋外階段を設置してください。

また 2 階以上で無窓居室を作ると、避難距離が 40m—20m となりますので要注意。

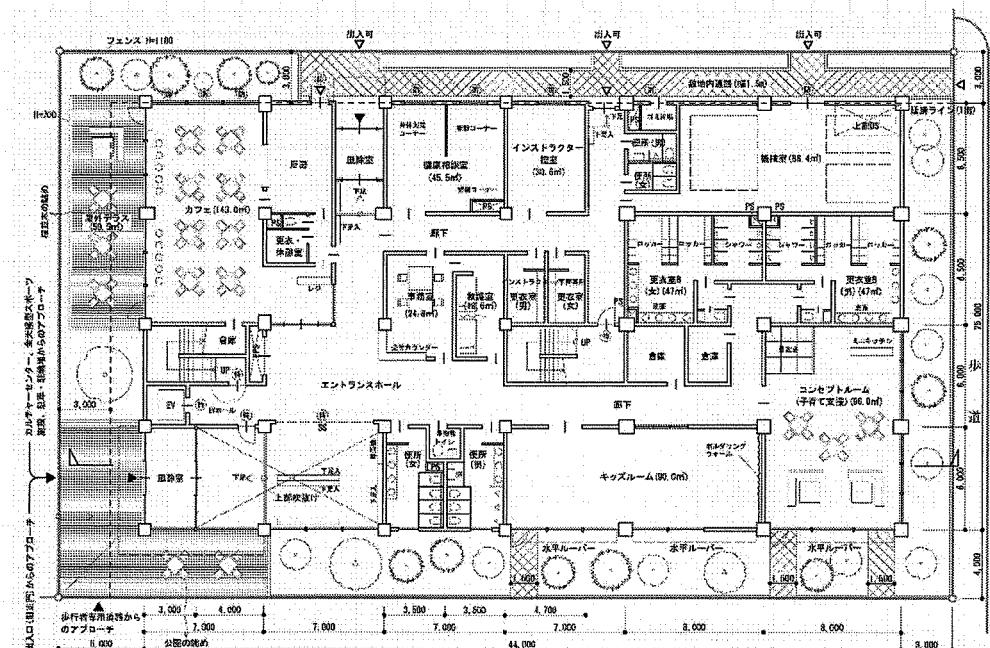
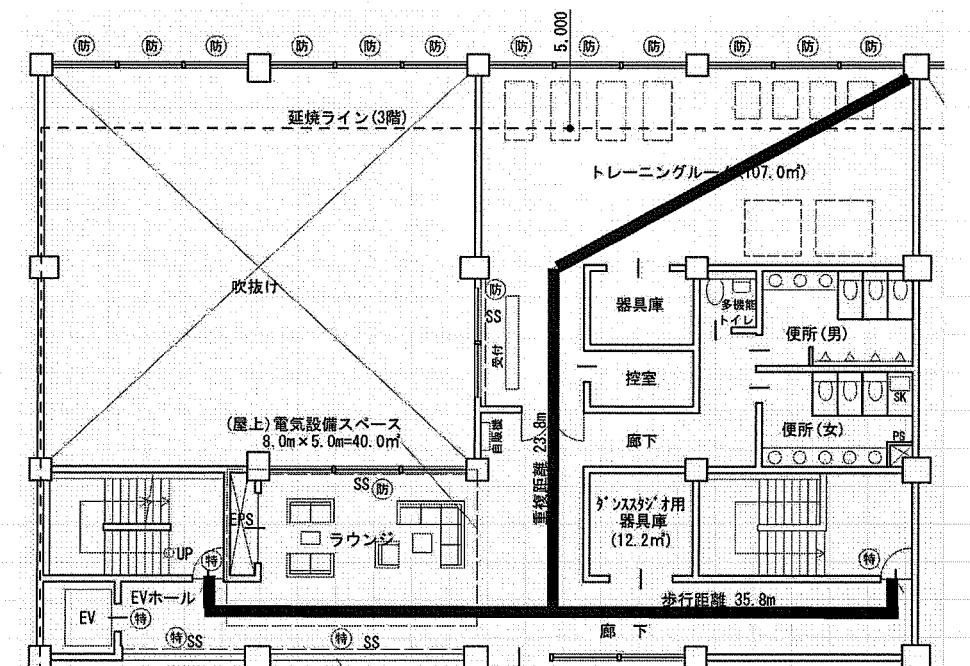
⑦敷地内通路

敷地内通路が必要となるのは、避難階の出口又は屋外避難階段から道路等に通じる部分とし、その通路幅は有効で 1.5m 以上が必要。

→そのため、避難階の出口又は屋外避難階段がない敷地境界線と建築物の間は 1.5m 以上開ける必要は法的にはないです。

→製図試験 com では、一律敷地内の通路については、1.5m 取ることを勧めているが、それは「避難階の出口」がどこで設けられるのかが不明であるためであり、絶対に設けないのあれば、1.5m 取る必要はないと考えてください。

→また道路境界線とは道路で接しているため、そもそも 1.5m 空ける必要がないのですが、H30 標準解答例では 1 階開口部と道路までの部分にハッキングがあるので参考のこと。



4:押さえておきたい計画上のポイント

4-1 建築計画

4-1-1 外構・アプローチ計画

本年度課題の利用者はほぼ 100%自動車による送り迎えです。そのため、歩行者アプローチよりも自動車による車寄せアプローチの方が重要になります。

送迎車を含めた駐車場計画、家族のための駐輪場計画、介護ステーションのワーカー用駐輪場計画、食品、ゴミ収集の物動線の計画を含めた外構・アプローチ計画が非常に重要になります。これらをセットで理解し、パート化しておくことが不可欠です。

また特養や介護 k 型有料老人ホームの場合は、屋外避難階段を使う予定なので、その部分も外構に降りてくると考えておいた計画が不可欠になります。

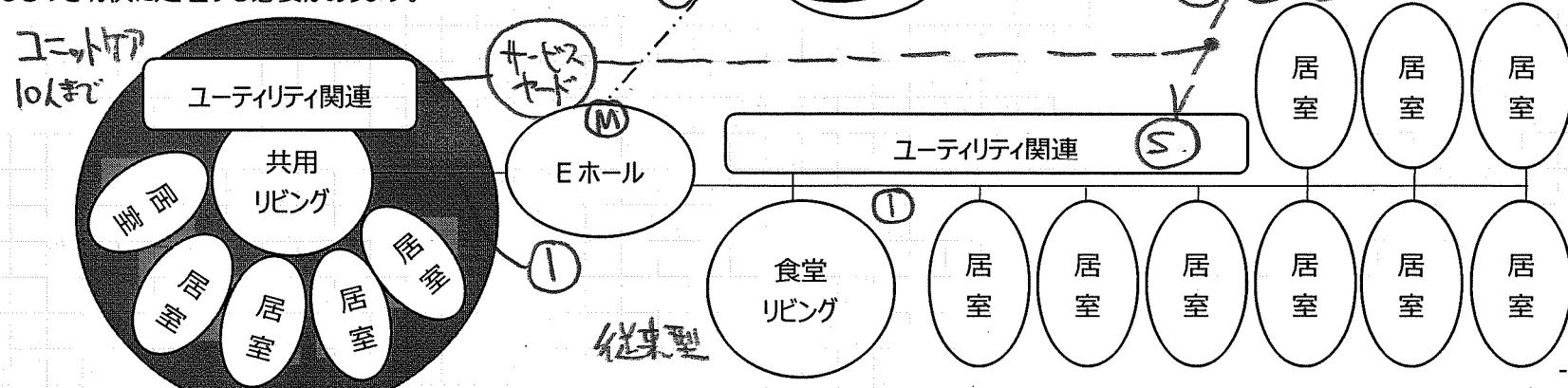
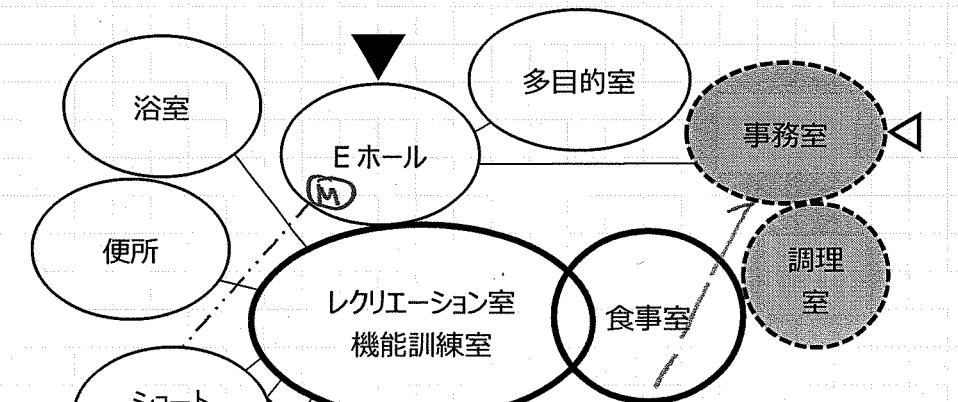
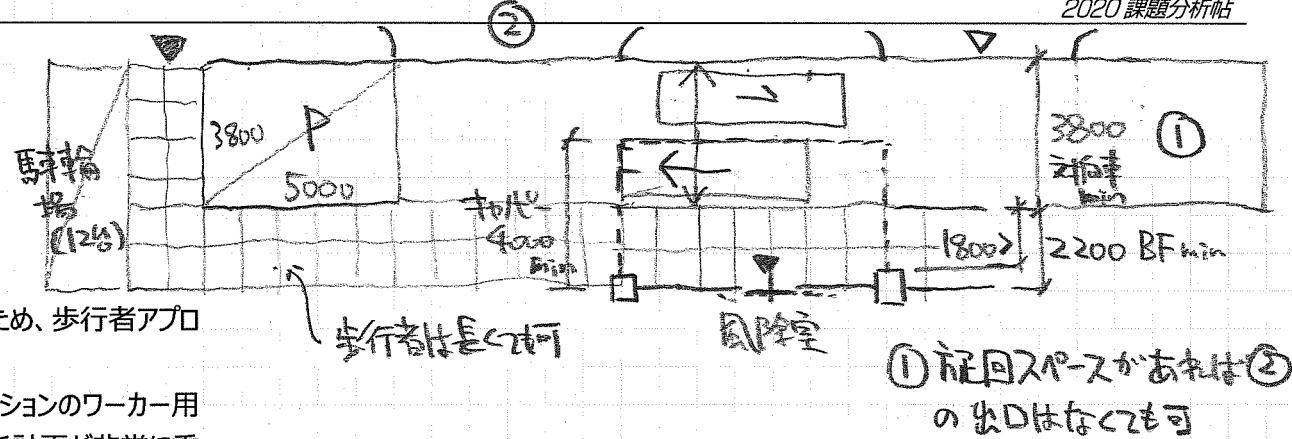
4-1-2 動線計画

動線計画の要は、全体構成に対する縦動線の EV の配置計画にあります。4.留意事項に昇降機計画の部門指定があれば、必ずそれに従ってください。

昇降機計画が適切に、ということであれば、

- ①利用者動線
- ②管理サービス動線
- ③物品搬入動線
- ④汚物系搬出動線

について、まとめるものと分離するものを明快に処理する必要があります。



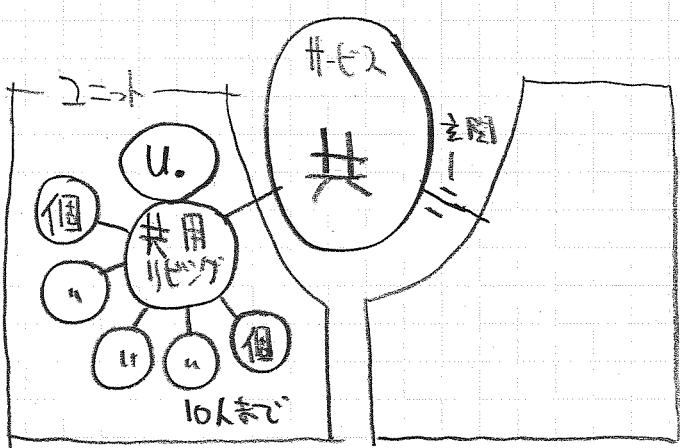
4-1-3 基準階攻略

本年度の要となるのは、この基準階攻略です。*P91であるように本来 I 型でスタートして間口を計算するところからがスタートなのですが、ユニットケア型は室数が多いため最後の最後となり、かつユニットで出題される可能性が高いため、まずユニットケア型かどうかを判断する方が早い対応になります。

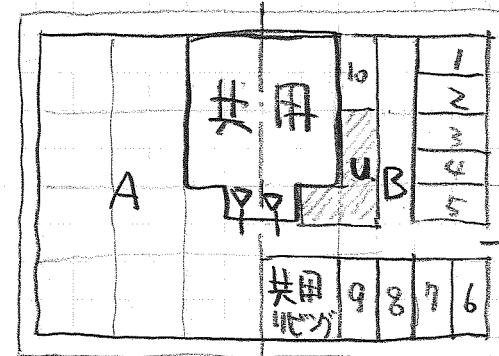
対応イメージ

- y- 1 ユニット/階 or 2 ユニット/階 or まさかの 3 ユニット/階か
- n- I 型-L 型-TC 型-ツインコリドー型-凹型-ロの字型展開

2 ユニットケア/階・型は大きく2パターン



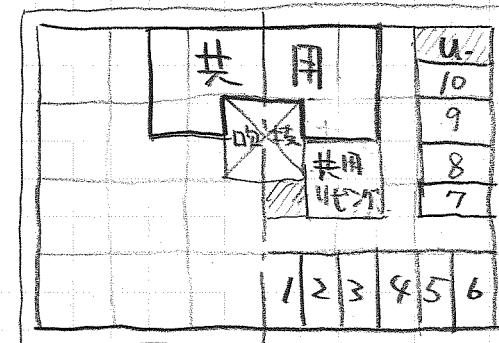
U. ... U-7, 4-7: 便所, 浴室, 他.



*6x4/2ユニット

- ・セーフ
- ・共用リビング 南
- ・1室北面

P16

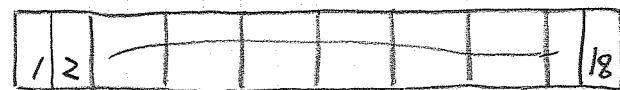


- ・中央光庭(吹抜け)
に干溝通風・採光
- ・中央に共用化センター
- ・全室日照割 P9

*1 ユニット型は従来型に近い。3 ユニット型はパーティ集でアップ予定

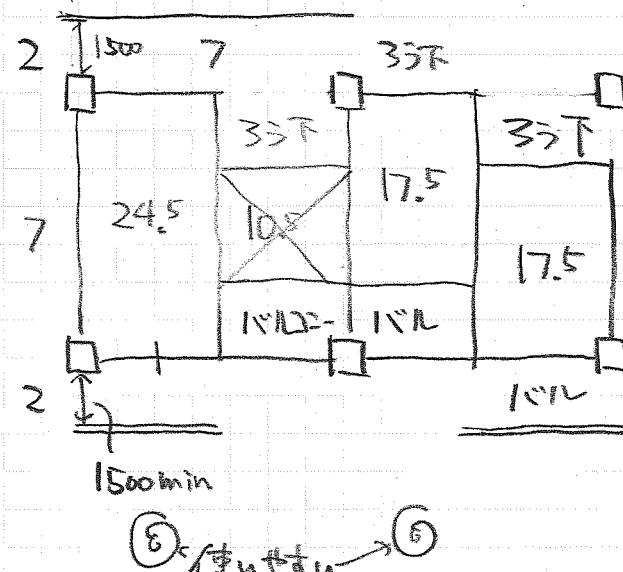
基準階型展開

①必要間口数を見込もう。



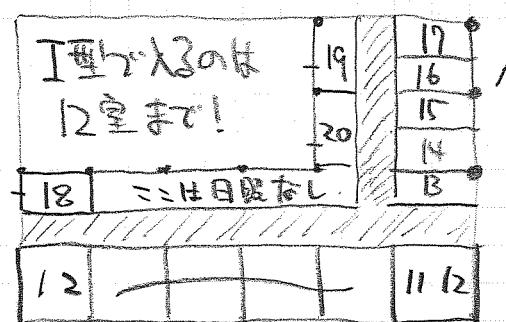
→ 仮に18室なら9スパン必要。

② 室とバルコニーと廊下のmin(7x7)



③ 使う壁を決める
↓ 様々なプランを試してみよう!

③ 東敷地から起算される最大スパン数を有効に使う! → 仮に 6x4 とする



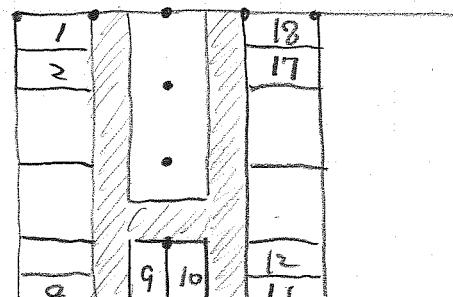
→ 17室OK → 18, 19, 20は可。

+ 西側L型も可。



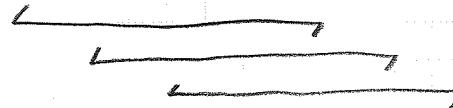
→ 15L型

+ 北側L型も可。



→ Tc型 (東西勝ち)

+ 西, 中, 東 L型



I → L → 凹 → Tc → 四

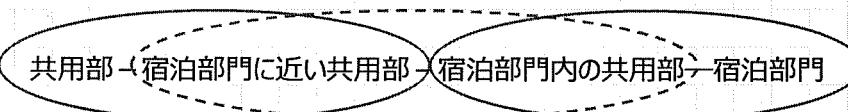
Cf:「各要求室を適切にゾーニング」とは。

本来、部門は 1 フロアで納めるべき。

本来、3 階建ての建物であれば、共用部と管理部門は除いて、1 部門 1 フロアとすべきです。それが筋ってものです。でもそうすると問題が簡単になってしまいます。そのため、部門が階に渡ったりするような出題がちょっと続いていました。そうすることで問題の難度を上げようと試みていたわけです。ただそれでも部門を 2-3 階にどう渡らせるのか、あたりくらいまででした。ところが。

h29 では、突然、共用部門に「宿泊部門専用の室」が配置されました。本来、宿泊部門に入れるべき室です。つまり出題者自らが、部門を超えてゾーニングすることもあるという出題を行ったわけです。

実際、部門ゾーニングについては、



というようにグラデーションがかかっていて、このラインから先は色が変わって宿泊部門というのもありません。また利用者もこの部門が何部門かということを考えて行動していません。

動線が主でゾーニングはそのための従。部門は出題者のくくり。

建築物の機能は動線で担保されます。その動線を成立させるためにゾーニングするだけです。

ゾーニングしても動線は切れている場合があるので注意してください。

さらに部門は、出題者のくくりです。具体例としては百貨店の各階にあるカフェ。例えば、子供服売り場階のカフェは、子供服部門ですか？それとも飲食部門ですか？部門をくらねばならないのであれば、各階カフェを飲食部門とするという部門構成はあり得ず、必ず各階の部門内にカフェが属することになりますが、一概にそうとは言えませんよね。部門は出題者が示しているくくり方であって、動線やゾーニングを担保しているものではないのです。

ひるがえって h29 はありだったのか？

ひるがえって、動線・ゾーニング・部門を捉え直すと、h29 の出題はあざとく、悪意に満ちていますが、建物としてはあります。動線は EV で分離するタイプ(図 A の変形)であり、問題ありません。この程度のことでは引かかってはならないのです。ということで動線上気をつけてもらいたいポイントをまとめました。あくまで部門は 1 部門 1 フロアとしつつ、柔軟に機能を考えて対応することが求められているのです。

動線上気をつけておいてほしいポイント

1) 原則は 1 部門 1 フロア

これは変わりません。でもそういう出題はあまりしてこないでしょう。ねじ曲がった試験です。

2) 大きな分かれ目は EV を使うか使わないか (EV は 2-3 階部門専用)

h14「屋内プールのあるコミュニティ施設」も h29「小規模なリゾートホテル」も EV に乗る利用者と乗らない利用者で大きく動線をわけており、EV からは別ゾーニングとなっています。(図 A)

3) EV ホールまでは共用タイプ (EV は共用部)

これは EV と乗降する EVEN ホールまでが共用部というものです。例えば、3 階で 2 つの部門がある場合、EV ホールを挟んで右／左という動線を使う場合などにこのケースが散見されます。(図 B)

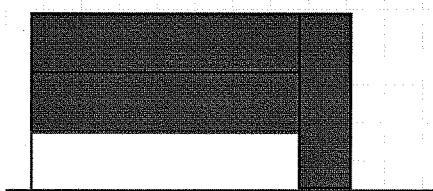


図 A : EV からは別部門

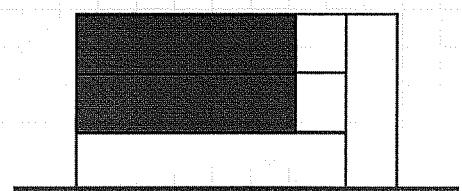


図 B : 各階 EV ホールまで共用部

例えば特養部門が 2-3 階の場合、図 A で EV は特養部門という可能性もあるわけです。

4-2 構造計画

構造計画上のルール

*P98が基本です。

- 1) 純ラーメン構造
- 2) 30m²ルール
- 3) 大空間ルール
- 4) キャンチレバールール

これを守ってください。

標準サイズ

メンバーで出題される可能性がありますので掲載します。

柱・梁断面

これは要点で出題される可能性があります。

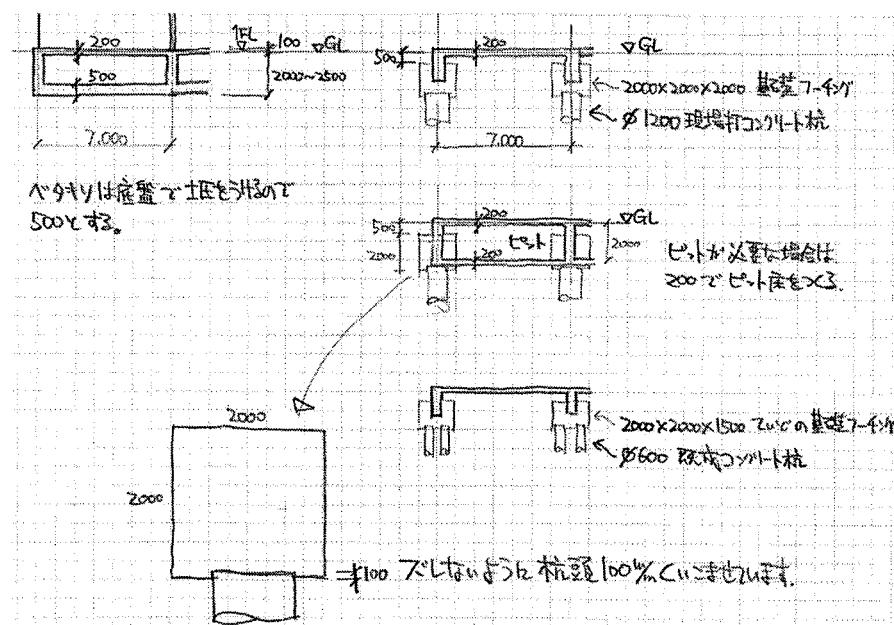
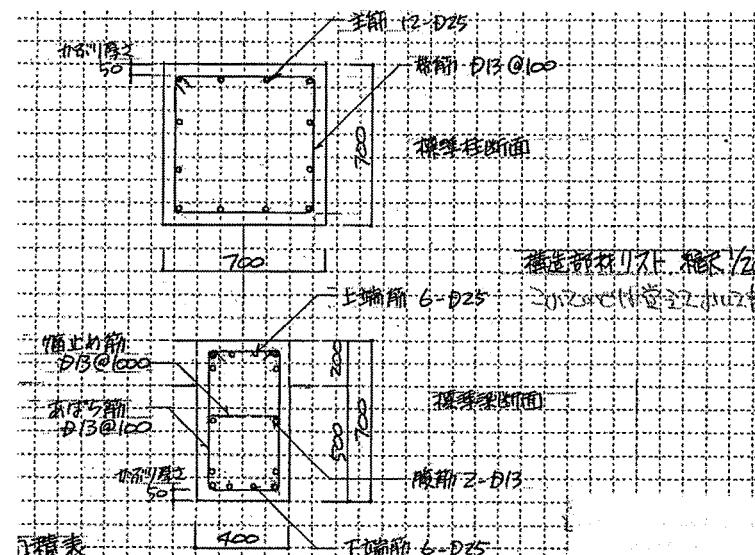
基礎の注意点

基礎は直接基礎（独立基礎、布基礎、ベタ基礎）と杭基礎（既製コンクリート杭、鋼管杭、現場コンクリート打ち杭等）に分けられます。間違えやすいのはピットスラブとベタ基礎の違い。建築物を支える基礎となるのはベタ基礎なら300～500mmですが、杭基礎でピットを作る等の場合のピットスラブは建築物の自重が載ってこないので200mmあれば十分です。

一般的に地盤の状態によるのですが、

- | | |
|---------------|-------|
| 支持地盤 GL±0～-3m | →地盤改良 |
| GL-3m～10m | →柱状改良 |
| -10m以上 | →杭基礎 |

と理解しておきましょう。



標準的な梁寸法

	スパン	B × D(幅×せい)	備考
RC	6	350 × 600	1/10
	7	400 × 700	1/10
	8	450 × 800	1/10
	9	500 × 900	1/10
Pc	8	350 × 700	PRC1/12
	9	400 × 750	PRC1/12
	10	450 × 850	PRC1/12
	11	500 × 950	PRC1/12
SRC	12	500 × 1000	PRC1/12
	13	450 × 900	PC1/15
	14	500 × 950	PC1/15
	15	500 × 1000	PC1/15
SRC	16	550 × 1100	PC1/15
	17	600 × 1150	PC1/15
	18	600 × 1200	PC1/15
	7	500 × 700	1/10
SRC	8	500 × 750	1/11
	9	500 × 800	1/12
	10	500 × 850	1/12
	11	550 × 900	1/12
SRC	12	600 × 1000	1/12
	13	600 × 1100	1/12
	14	650 × 1200	1/12

	スパン	断面	備考
S	7	H-500 × 300	1/15
	8	H-600 × 300	1/15
	9	H-600 × 300	1/15
	10	H-700 × 300	1/15
	11	H-800 × 300	1/15
	12	H-800 × 350	1/15
	13	H-900 × 350	1/15
	14	H-1000 × 350	1/15
	15	H-1000 × 350	1/15
	16	BH-1100 × 400	1/15
	17	BH-1200 × 400	1/15
	18	BH-1200 × 450	1/15

標準的な柱寸法

	階数	寸法	備考
RC	5以下	700 × 700	
	6以上	800 × 800	
SRC	5以下	800 × 800	
	6以上	900 × 900	
S	5以下	□-500 × 500	
	6以上	□-600 × 600	

*ロングスパンの両側の柱は1サイズアップ

4-2-3 特定天井

国土交通省告示第791号（平成28年5月31日）

特定天井とは

- 一 居室、廊下その他の人が日常立ち入る場所に設けられるもの
- 二 高さが6メートルを超える天井の部分で、その水平投影面積が200平方メートルを超えるものを含むもの
- 三 天井面構成部材等の単位面積質量（天井面の面積の1平方メートル当たりの質量をいう。以下同じ。）が2キログラムを超えるもの

つまり、**大空間で 200m²かつ 6m を超える（6m は入らない）で 2kg/m²以上の重さの天井を特定天井とする**ということです。

特定天井の構造方法としては、

- ① 一定の仕様に適合するもの【仕様ルート】（第3第2項及び第3項）
- ② 計算により安全性を検証するもの【計算ルート】（第3第4項）

がある。

国土交通省告示 791 号第3第3項の仕様ルートは、平成 28(2016)年の本告示の改正によって追加された構造方法で、

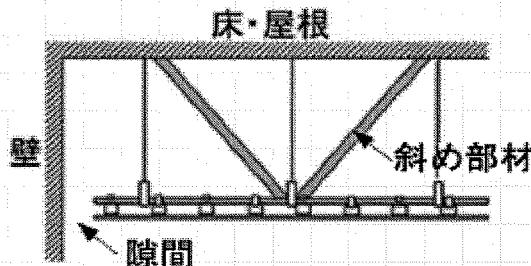
天井と周囲の壁等との間に隙間を設けず、また斜材は設けず、天井の地震力を周囲の壁等で負担することにより損傷や脱落を防止するものである。（図B）

簡単に言うと、（図A）のやり方は、施工も大変な上、ホコリ等のメンテナンスの問題があるため、平成 28 年に改正案が付け加えられ、特定天井の剛性を高めて固める方法ではなく、建物と一緒に動いて追従することで天井落下を防ぐ仕様が認められたということです。

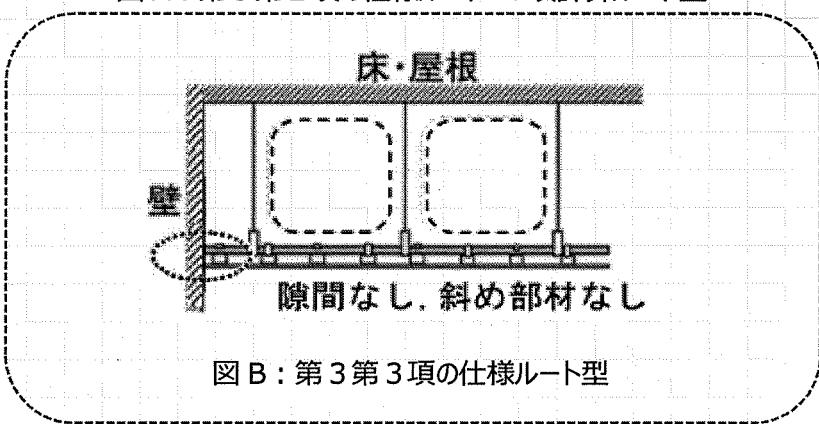
ですので、特定天井とするならば①隙間は空けない、②斜材は設けない、で統一したいと思います。（隙間を空けて、斜材を書きたい方は書いてください）

もしくは第3の選択肢として③2kg/m²未満の軽量天井とする、があります。

出題としては、断面図よりも要点記述で書けるようになっておくべきかと思います。



図A：第3第2項の仕様ルート 4項計算ルート型



図B：第3第3項の仕様ルート型

4-3 設備計画

空調機械室

高齢者介護施設の空調のコンセプトは、24時間空調+個別空調です。また、空調方式はコロナの影響で外調機による給気を使った換気が基本となります。その上で、

- ①空冷ヒートポンプパッケージ方式+外調機
- ②ファンコイルユニット方式+外調機

2択になると考えられます。

ファンコイルユニットは、冷温水を各室に配管し、それをコイル状にしたものにファンで風をあて、冷暖房するものです。換気はできません。ファンの風量で温度が決まります。

・外調機

各階型と中央型及び屋外(屋上)型があります。リターンのない單一ダクト方式だと考えていただいているかと思います。これで温湿度を調整した外気を各室に給気します。各室は給気されて正圧となり、便所もしくは外壁の排気口から排気します。全熱交換器は使いませんので間違えないように。

電気室

受電設備(キューピクル)は、屋外、電気室、屋根上の3タイプがあります。各階にEPS(1x3程度)を設けます。キューピクル本体は2x4x2程度、クリアランスは1m程度で、電気室であれば、4x6m以上イメージしておきましょう。

受水槽室

受水方式は、①水道直結増圧方式もしくは②受水槽を設けるポンプ直送方式となります。②の場合、水道本管の圧を考え、1階もしくは地階に受水槽を設けるのが原則です。受水槽(2x3x2)で、これにクリアランス600以上、4x5=20m²程度が受水槽室の最小限度となります。通常、分館程度であれば①水道直結増圧方式を使いますが、震災時対応として指定される場合があるので②も使えるようになっておきましょう。

消火ポンプ室

2,100m²以上の建築物に必要で、階段室最下階の一部をポンプ室に使えます。

動線の頻度とゾーニング

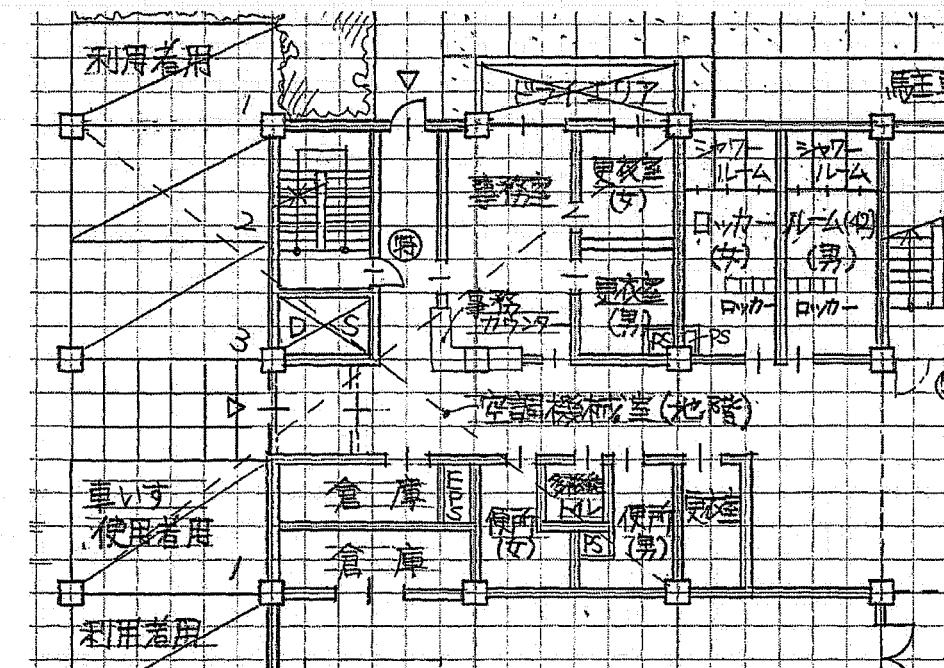
ゾーニングとしては、管理部門に納めるべき機械室ですが、利用頻度が少ないので、管理部門から離れて計画しても特に問題はありません。

地階に計画する場合

地階に機械室を計画する場合は、給排気のためにドライエリアを計画しておきます。機器の出し入れについては、ドライエリアからが理想的ですが、不可能な場合はばらして階段で下ろします。

→地階に空調機械室を計画した場合に絶対に必要な4点

- ①地下の範囲明示
- ②地階への階段
- ③ドライエリア(歩行可能グレーチング仕様)
- ④DSは機械室真上が望ましい(横引き可)



結論：結局機械室関連はどのくらい必要なのか？

空調機械室：(HP) 空調用 PS : 2x1 のみ 床置きダクト接続型機械室 (2x3)

外調機機械室 20m² 程度。各階なら 10m² 程度

電気室 : 6x4=24m²、もしくは屋上、屋外

受水槽室 : 4x5=20m² 程度 1 階 (直結増圧方式の場合は不要)

ポンプ室 : 5m² 程度

設備シャフト

DS : 2x2~2x3 (SA+RA 含む)

PS : 便所、流しのある排水下部には必ず必要 1x1

EPS : 1x3~2x3 各階上下同じ位置

空調用 PS : 1x2 程度。空冷 HP エアコン・ファンコイル使用時

屋上もしくは屋外に、空冷ヒートポンプチラー（單一ダクト）、空冷ヒートポンプ室外機

Cf:設備関連の描き漏らしをなくす方法

多くの受験生は、A2 の図面を絵として描いています。なので、どうしてもチェック漏れが起こります。重要な要素もどうでもいい要素も 1 本の線でしかないからです。

ではどうすれば設備の描き漏らしを減らすことができるのか。

こうイメージしてください。

空調：呼吸器系（息）

・OA—エアハンドリングユニット (AHU) — DS — SA 室 RA—AHU—EA

・室外機—冷媒管（空調用 PS）—室内機 室

電気：神経系（神経）

・引込—EPS—（高圧）キュービクル（低圧）—EPS→各室へ

給排水：循環器系（血）

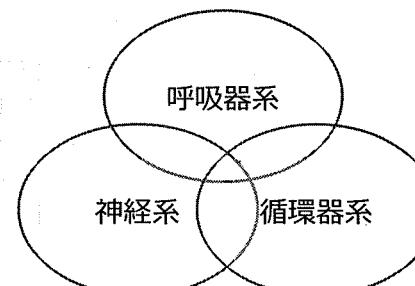
・引込—受水槽—ポンプ圧送—PS—給水・排水—PS—最終会所—下水

建築物の図面を終えた時点ではまだ命が入っていないのです。建築物が仕上がった段階で「命入れよー」みたいな感じで書き込んでいいかがでしょう。

そのうち、気道も神経も血管も途中で描かないと思持ち悪くなってしまいます。w。

コアゾーニングが終わった段階は、スケルトン＝骨格です。要求室配置は肉付け。

骨格と肉付けが終わったら、命の 3 要素を入れるって感じで考えてみてください。



4-4 建築環境負荷低減

敷地条件(方位等)や周辺環境に配慮

建築的手法で自然エネルギーを最大限活用することをパッシブデザイン、太陽光発電とか風力発電等をアクティブデザイン（機械的手法）といいます。本年度は留意事項に「敷地条件(方位等)や周辺環境に配慮して～空調負荷の抑制や自然光の利用を図る」とあり、主にパッシブデザインが求められます。（省エネはアクティブデザインも導入します）

パッシブデザインは主に夏のクーリング対策、冬のヒーティング対策の2種類に分けられます。

まず文字で理解し、平面図と断面図での図示ができるようになっておきましょう。もちろん計画の要点への対応も必須です。

□夏：クーリング対策

- ①日射の遮断
- ②適切な通風
- ③蒸発冷却、夜間の外気温、

地中冷熱の利用

□冬：ヒーティング対策

- ①十分な断熱
- ②日射熱や内部発熱の効果的な取得
- ③④の蓄熱
- ④建物内温度平均化のための熱輸送が挙げられます。

(右：建築設計資料集成より引用)

ヒーティング		
太陽熱の利用：日射熱を室内に取り込み、暖房に利用する。		
ダイレクトゲイン 窓から入射する日射熱を熱容量の大きな床や壁などの蓄熱体に蓄熱させ、日射が少ない時間帯に放熱させ暖房効果を得る方式。	グリーンハウス(付設温室) 居室の南側に温室を設け、ここで集めた熱を居室に循環させる方式。	温風蓄熱式床暖房 屋根を集熱装置とし、軒先から取り入れた外気を床下へ送る。蓄熱体を暖めた後、室内に放出する方式。
 荒谷邸(荒谷登) ⁰²	 バルコム邸(S.ニコラス) ⁰³	 金山中学校(木曾三岳奥村設計所 +東京芸術大学益子研究室) ⁰⁴
金山中学校(木曾三岳奥村設計所 +東京芸術大学益子研究室) ⁰⁴		

ヒーティング/クーリング	クーリング	
地中温度の利用 地下10m以下の地中温度は、その地域の年平均気温にはほぼ等しいことを利用。	夜間換気の利用 日中に高温になる外気でも、夜間には低下する。この夜間外気を室内に導入する。	
アースチューブ 地中埋設した管内に空気を送り、夏に冷熱源、冬は温熱源として利用する方式。	ナイトバージ 夜間に自然通風を図り、涼感を得ると共に、蓄熱体の温度を下げ、翌日の室温上昇を抑える方式。	
 比嘉邸 (原昭夫+山川建築設計事務所) ⁰⁵	 長野オリンピック記念アリーナ (久米設計+鹿島建設) ⁰⁶	
屋根流水 夜間に断熱された屋根面に水を流し冷却し、その水を室内の放射パネルに循環させて、冷気を得る方式。	放射冷却屋根 斜傾斜で面積の広い屋根の下に空気層を確保し、夜間に外気を通して放射冷却により冷却する方式。	
 屋根流水放射冷房システム ⁰⁷		
 小茂根の家(石田信男) ⁰⁷		

自然エネルギー利用手法の例[3]

06: 西沢広紀、須永修通、伊藤直明: 太陽／風力
公演論文集, p.237 (1994)

07: 石田信男: 新建築住宅特集, 6月号, 新建築
社, p.91 (1994)

5:ステップエスキース+作図手順

5-1 ESTEP-00 ポイント(約 5 分程度)

「高齢者介護施設」問題文の読解のポイントは、8月9日段階では下記の5点です。常に自身の基準点を作り、それをモノサシにして、どんなタイプの施設なのかを想定しておくことで、①手戻りが少ない②検討事項が少ないエスキース手順となります。

1) どんな施設なのか：その部門構成

- ・これは I .設計条件にあり、かつ要求室の部門構成にあります。
- ・用意していく部門構成パターンで当てはまるものを選択します。

2) ユニットケア型／通常型か：居室数／階

- ・前項でわかっているかもしれません、基準階形状を決定づけるのがユニットか通常型か。
- ・そしてワンフロアの居室数から必要間口数を計算しておきます。

3-a) スパン決定要因の把握-①居室面積+居室数とスパンイメージ

- ・居室面積と 1 フロアあたりの居室数から●m2 系であると予想ができます。

3-b) スパン決定要因の把握-②他の要求室の数値系

- ・加えて、他の要求室も観ておきましょう。惑わせる要素かも、なので必ず確認します。

3-c) スパン決定要因の把握-③敷地の大きさ・向き

- ・42mx28m の最大建築面積が取れる敷地なのかスパンとの関係を想定します。

4) レベル差他ビックリ玉

- ・レベル差を含むビックリするような問題が出る可能性はちょっと観ておきましょう。

この 4 つを読み込んだ段階で本試験のプロトタイプイメージを想定します。

毎回、問題を解く際の所見はこのチェックをやるように心がけてください。

Cf: 最初の 1 分で合否が分かれた h29

昨年 h29 の「小規模なリゾートホテル」では、南東方向に名峰があること、各宿泊室から名峰や湖が眺められることが記載してあったにもかかわらず、それを読み飛ばし、もしくは、軽い条件だと無視した受験生が多発しました。

最初の 1 分で合否がわかったわけです。あとは不合格図面ましぐら。なぜこんなシンプルでイージーなミスをして合否を分けてしまったのか。これは重要な問題です。

必ず課題にとっての大枠があること

この製図試験には、必ず守ってほしい「大枠」「フレーム」「大前提」のようなものが存在します。ただし、課題ごとにビルディングタイプが変わるので、単に暗記しようとしても無理があります。しかし、それにしても厳然とあるわけです。

今回の美術館の分館を計画するに当たり、左記の点について最初に押さえておくことで、全体の大枠が見えてくるかと思います。しっかり調べてみましょう。

初見での伏兵捜し

プランニングしていかないとわからない話もありますが、初見で大きく舵を変えねばならないポイントがあります。それがこの 4 点（スパン決定要因は 3 点）です。

できるだけ初見でこの問題を難しくする伏兵を捜したいと考えています。

5-2 ESTEP 各ポイントでの要注意事項

「ステップで攻略するエスキース」テキストを用いつつ、2020年度版ステップに仕上げていくにはいくつかの注意点があります。*P51

ESTEP-00 本年度対応

- ①部門構成（最終版未稿）
- ②居室数／階→ユニットケア型／通常型か
- ③3つのスパン決定要因 a)居室面積と室数 b)要求室 m² 系 c)敷地大きさ向き
- ④レベル差他ピックリポイント

この4点はおさえます。全体を俯瞰的に読むのもあります。

ESTEP-01 コンセプト（設計条件+留意事項+計画の要点）

冒頭部分は00で読んでいるので、ここでは4.留意事項、3.計画の要点に留意しつつ、「高齢者介護施設」コンセプトの注意点を読み込みます。特に法規、設備、計画上の制限事項（景観や周辺環境事項）に注意しましょう。

ESTEP-02 アウトプット（II要求図書）

いつもと異なる記述にのみ本当に気をつけてください。断面図は切断位置と方向を間違えないように。道路斜線とか初めての記載事項があれば全て答案用紙に記載しておきます。

ESTEP-03 アプローチ（仮）+敷地方向読み

ES-00①で既読していますが、ここは精読しておきます。

スパン決定は ES07 で最終決定しますが、ES00・ES04 で想定しておきます。

ESTEP-04 建築物ボリューム想定（積上図）

何階建で出題されるかは不明なので、2階、3階とかでの概算値を持っておくといいでしょう。地階の有無と面積を含むのか、計算条件にピロティ下の面積参入があるのかどうかも確認。

ESTEP-05 外構面積想定

試験会場で新たにプランニングすることを避けるため、車寄せを含めパートを準備しておくことが必要です。できる限り外構はいじめること、かつパートがないものがあれば、ここでささとスケッチして、最小限寸法での確認を取っておきたいところです。（外構の手戻りは痛いです）

ESTEP-06 最大建築面積

本年度は道路斜線や建築高さ制限の可能性が高く、これらは集団規定にあたり、違反すると失格になります。最大建築面積・壁面後退・高さには細心の注意が必要です。

ESTEP-07 スパン決定+全室リスト

要求室から、全室と面積、動線、高さ、の3つの情報をオールインワンでリスト化します。居室のある基準階については廊下含み面積をこのタイミングで計算想定します。

→ここがいつものエスキースと最も異なる部分で基準階パートが必要です。

つまりほぼこのタイミングでプランイメージが必要だということになります。したがってユニットの場合は、抜けないように室名のみ書くことになります。

スパン調整+面積調整

基準階縛りが大きいためあまりスパン調整、面積調整は出てこないと思います。ただ7x7、6x7では納まらない可能性があり、面積としては等スパンで算定しておいて、敷地との空き、上下階との関係性から**ES12において最終スパン面積調整を行います。**

製図試験comでは様々なスパンは使わず、等スパンでボリュームを計算し、ES12コマプランニング前後でスパン変更をかけます。ただしスパン変更情報は絶対に確認。

ESTEP-08 動線図・積上図2

まず①雑形動線図を描くこと。次に②外部の敷地条件を含めた全室リストの動線情報を加味すること。これで本課題での動線図を完成させておきます。この際、*P75にあるように、ゾーニング上必要な動線のみを追いかけるようにします。

またES04の積上図に車寄せ、大空間、吹抜け、ピロティの4つの情報の可能性を読み、ボリューム算定をより正確なもの=積上図2に育てておきます。

ESTEP-09 ポイントアップ

やらない方が多いのですが、読解のまとめが非常に重要です。これで読解が終了。*P51～

ESTEP-10 ゾーニング図

動線図にボリュームを与えて、それを最大建築面積の箱に割り当てる作業です。

最近、この部分はステップエスキースのように平面図ではなく、積上図2のような断面図を使うようになってきました。

物理的な箱としての積上図2 ← 部門を理想的に配置した各階廊下含み部門面積

この差異が部門の階またぎになるわけです。

ただし、本年度課題では部門の階またぎはほぼ起こらないと考えられますのでこの ES10 はほぼ不要になる可能性が高いと思います。

ESTEP-11 コアゾーニング

ここでは、コア、吹抜け、大空間、車寄せ・ピロティ等の干渉チェックを行います。

ベースとなる基準階のひな形イメージを使う必要があります。このひな形イメージをベースにしてコアを配置し、メインコアとサブコアを廊下でつなぎます。

この段階で二方向避難の確認をする習慣を身につけておきましょう。

①基準階想定イメージからコアを打てるゾーンを総当たりで出します。

基準階イメージがまだ複数の場合は、それも全て想定します。基準階型施設は、基準階を優先します。（基準階の気持ち）

②アプローチや周辺環境及び車寄せに従って決まるであろう 1 階の共用部と管理部門で各メインコアとサブコアの位置の可能性のあるコマを総当たりで出します。（1 階の気持ち）

③基準階と 1 階のそれぞれにとって都合のいい場所がコアの打てるゾーンとなります。

コアはその後、ある程度位置を泳がすことを行うため、コアプランニングではなく、コアゾーニングと呼んでいます。

こうしてできあがったコアゾーニング = RC で建設する部分であり、スケルトンイメージと呼んでいます。このスケルトンが整理されて、残りの形がきれいに残っているほどプランしやすく、逆に残った形が悪いとプランは難しくなります。

ESTEP-12 コマプランニング

ESTEP-11 までで、スケルトンが完成しました。今手元に動線図があり、面積の割り振りとしてのゾーニング図があり、コアが 1 階から基準階まで成立している RC 造のがらんどう = スケルトンが立ち上がっている状態です。あとは室を配置して間仕切りすれば完成。これをコマレベルで行います。コマレベルで納まるのがわかるのはパーツがあるからです。

コマレベルで熟考したり、長考してはいけません。それはパーツがまだ頭に入っていない状態なのです。そういう型は試験形式ではなく、ひたすら資料を観ながらエスキースすべきです。またプランを練る場合は、1/400 もしくは 1/200 を使いましょう。プランニングパーツを含め、プランを練るのは 1/400、1/200 で。それを使ってプランを置きに行くのがこのコマレベルプランニングです。

また本年度の場合、納まりにくい基準階コア周り、管理部門周りですね。この部分だけ 1/200 とかでやるのはあります。

スパン調整 + 面積調整

ここまで等スパンで計画してきましたが、最終的に 7x7、6x7 だけでは納まらない可能性があります。ただあまりスパンを触ると基準階の居室に影響しますので注意してください。

ESTEP-13 最終チェック

この試験、最終は難しいのではなく、ケアレスミスによる抜けや間違いで不合格になります。何度もチェックしつつ、確実に解く。そして最終チェックで何をチェックしなければならないのかをしっかり確認しておきましょう。



5-3:DSTEP 注意事項

早く描くために必要な 4 点

作図を早く仕上げるには、①手を止めない、②手数を少なくする、③手を早く動かす、④手戻りを最小限にする この 4 点だけです。ですから、手を止めずに、効率よく手数を少なくて、手を早く動かして描き、できるだけ手戻りのない図面工程で作図することが、合格作図への王道です。

確認したモノを描くこと

加えて、CAD と異なる点が 1 点だけ。CAD は入力後の確認を前提で描いていますが、手描きの場合は「確認したモノを描く」つまり、とりあえずは描けないというところに特徴があります。ですが CAD 世代がほとんどであるため、確認したモノを描くということができていません。描くという動作の中に確認作業を埋め込む必要があると考えてください。

DSTEP で画期的な点

1/200 作図は、エスキースのトレースと情報の追記です。実はエスキースと照合している時間の多くは手が止まることがわかっています。そこでできるだけエスキースを観る時間を減らすために、DSTEP-3 を作りました (*P95)。このタイミングで実はエスキースのトレースを終えます。そして問題文との整合性も確認します。そしてエスキースをここで手放しあとは原則観ません。観るのは問題文だけです。こうすることでかなり作図は早くなります。

ただし、線を全て描く前に文字を書き入れるため、図面は多少汚れ気味になります。それは捨てても、この描き順の方が早く図面が仕上がるため、このステップに変えました。

※弊社「鉄腕作図テキスト」はこの新しい描き順ではないのでご注意ください。

注) 「ステップで攻略するエスキース」*P95 では図面完成を 170 分にしていますが、最小限表現図面については 150 分 = 2 時間半での完成をめざすように現在指導しています。

ただし、本年度は非常に作図量が多いのでもう少し押すと考えられます。

毎回ラップタイムを取ってしっかり管理ていきましょう。

製図試験.com 作図標準ステップ -DSTEP© ver1.2

所要時間	目標時間
10 分	
10 分	
15 分	35 分目標
35 分	70 分目標
40 分	110 分目標
20 分	130 分目標
20 分～ 150 分	最小限表現図面 150 分目標 密度を上げる 30 分 180 分
10 分以上 180 分	最低 10 分必要 + 最後まで図面表現密度にもこだわる。

5-4 パーツについて

高齢者介護施設パート

基本としては*P87で下記のようにカテゴライズしています。

A : 管理部門まわり B : エントランスまわり C : 広場 D:外構 E:特殊パート

高齢者介護施設では、このパートを膨らませる形で押さえていけば大丈夫

- | | |
|---------------|--------------------------|
| A : 管理部門まわり | 標準パート+介護ステーションセット等を使います。 |
| B : エントランスまわり | 標準パートですが、コア階段は要注意。 |
| C : 広場周り | 特に変更ありませんので標準パートを使います。 |
| D : 外構 | 標準パート+車寄せセットを使います。 |
| E : 高齢者施設他 | 高齢者向けの特殊なパートを使います。 |

これらをまとめたパート集については、9月9日前後に発送予定です。それまでの間は、標準パート集をご利用ください。

標準パート集ダウンロード <http://seizushiken.com/DL30/parts-A4.pdf>

5-5 計画の要点について

計画の要点については、軽んじられている風潮がありますが、配点も大きいと思われ、合否に大きく影響すると考えて下さい。

ただし全体ができる設問を外さなければ、全体ができないような設問に関しては、それで不合格になるようなことはありませんから恐れる必要はありません。

計画の要点は大きく分けて3つの問題傾向があります。

ひとつは、答案とした計画を説明する記述、そしてもうひとつは図面に表現できないような知識を説明する記述、そして図示です。

計画を説明する記述

計画を説明するわけですが、必ず理由があって計画しているはずですから、その言語化にあたってキーワードで押さえておけば、本来は説明できるはずです。計画の説明に困ったら、*p108の「建築計画のための5原則」を使って書けば問題ないかと思います。

ただし言語化といっても急には書けないので、ひな形で日頃から練習しておく必要があります。

●●は（△△という理由から）××に配置した。等です。

知識を説明する記述

これは構造、設備、建築環境負荷低減についての記述問題に多いパターンです。原則、暗記物ですが、概念を理解してから暗記するというスタイルに徹してください。また学習していく際に不明な点は常に質問するようにして、穴をなくす学習を積上げていってください。

図示について *P112

本年度は、パッシブデザイン的要素に加え、ユニットケアに対する考え方とか、動線計画、避難計画、そして防災での位置付け等が問われるのではないかと考えています。

<重要参考資料>

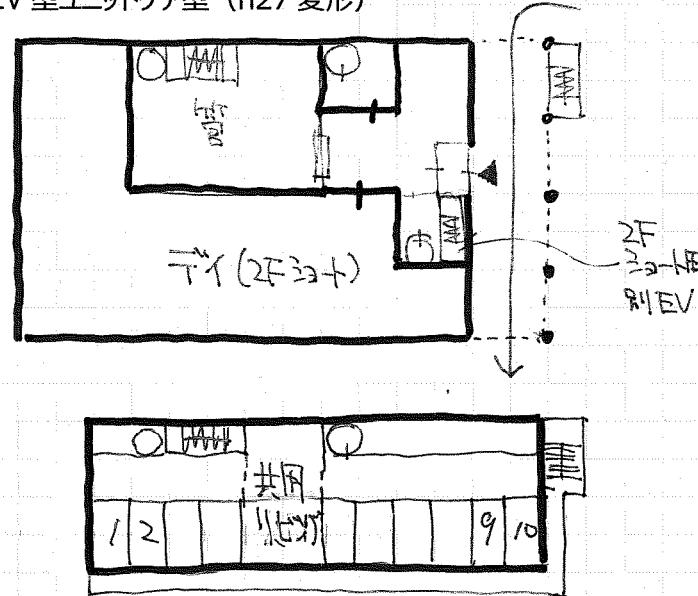
https://www.mlit.go.jp/gobuild/gobuild_tk2_000017.html

6:本試験予想

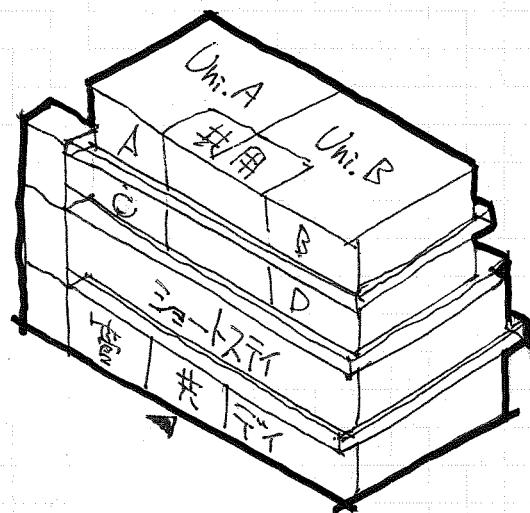
8/1 時点での全く独立に本試験予想です。

- ① デイ+ショート → ユニットケア型 王道ですね。
- ② 3EV系 h27 の再来です。
- ③ せかの 2F 平面 2枚 3ユニット。
廊下蕲を縦2本く必要が有ります。

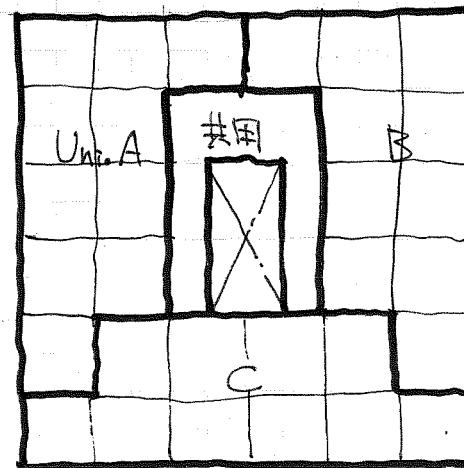
② 3 EV 型ユニットケア型 (h27 変形)



① デイ+ショート+ユニットケア型(h11・h23 変形)



③ 2階建て 6 × 6型 (h12/17 変形)



Cf:メンタルについて

がんばるほどに負債を抱える構造

顕在意識=自分自身の意思で考えている意識、潜在意識=意思とは関係なく存在する意識。無意識とも呼ばれています。その比率は3：97とも言われています。

さて、いつもお話することですが、このテキストを読んでいる皆さんには、製図試験の合格体験がありません。また課題評価が毎回悪いことで、苦手意識や不要な緊張階を潜在意識に貯め込んでいる可能性があります。それがトラウマ（大きな精神的ショックや恐怖が原因で起きる心の傷。精神的外傷）になっている可能性も高いです。

そんな状態で「負けずにがんばろう！」とか「絶対合格するぞ！」と口ずさんでいると思います。それは顕在意識がそう宣言することで、気合いを入れているわけですが、気合いを入れてがんばるほどに、3はがんばりますが、97は、「でも無理じゃね？」と積み上がります。

つまりがんばろう！と意識するほど、無意識は否定する方にストックします。その比率が3：97なのだとするとたまたまんじやないですよね。3万円バイトすると97万円借金になるようなしきみです。

3：97について

いやいや、潜在意識が大きいのはわかるが、学説でしょ？と思うあなた。今から簡単な実験をしましょう。コップに水を入れて飲んでみてください。……。その行動のどこまでを顕在意識でやりましたか？ 当然100%顕在意識でやったと思っているでしょう？ところがところが。

まずコップはどのコップにしましたか。水はどの水にするのか考えましたか。蛇口をひねるのは意識しましたか。飲むという行為は意識してやりましたか？ 全部勝手にやりましたよね？ほとんど無意識だったのではないでしょうか。あなたを含め全ての人間の行動は、ほとんど無意識で規定されていると言っても過言ではないのです。

メンタル=潜在意識の使い方

ですからメンタルを鍛えるというのは、潜在意識の10%でも使えれば、顕在意識の3の3倍以上の効果があるということと同義なのです。つまり潜在意識を鍛えることなのです。

潜在意識をコントロールする方法はいくつかありますので簡単な方法をここでは3つ解説しておきたいと思います。

トラウマは溶かすことができる

普段の通信添削課題が解けないと、解けない状態があなたを痛めつけます。しかし本来は、解けなかつたときは常に「本番でなくてよかった」だし、解けた時は「本番でもできる」なのです。

そして解けないことが発見できていること=伸びるチャンスなのです。解けなかつたときは、それを細分化して、その日獲得できたこと前進したことにつォーカスし、レビューして寝るようにしてください。

例えば「要求室を1室忘れて失格になった！」→「でも他の室は忘れなかった」「次回からはエスキースの途中でも一回要求室確認しよ！」「本番じゃなくてよかった」「本番ではこのミスはしないように確認する」「よしよし、これで合格に一步近づいた」と褒めて寝るようにしてください。

大事なのでもう一度書きます。

ミスする	→ 原因を突き止める	→ 二度としないように対策を立てる
	→ 本番じゃなくて良かったと思う	→ これで合格にまた一步近づいたと思う
	→ その気持ち	= 届くミス修正ができた段階で、ハッピーに寝る。

です。あなたにその夜の間に解決できないような大きな話は、その夜には解決しないのです。なので悩んでも悔やんでも全く前進はしません。ならば、そんな大きな問題はむりかもしれないけど、寝るまでに解決しそうなミスチェックや問題点ならなんとかなるはずです。そうやって小さなところからコツコツ積上げることが最もメンタルにとって重要なことです。

気持ちは常に「本試験でできるためにイマできることをやる」ということなのです。そして少しでもそれができれば、しっかり褒めて寝る。ここが大切です。

実は、人間は覚醒（目覚めている時）と睡眠の間に「催眠」状態があります。つまり少なくとも夜寝て朝起きる際、1日2回催眠状態になっています。この時に潜在意識の扉があいているんです。そのスキを狙って潜在意識に褒め言葉を入れておきましょう。

まとめに代えて

既にあの学科試験を突破している社会人。それがあなたの立ち位置です。

私は恥ずかしながら、学科試験は 6 回ダメでした。7 回目でようやく受かりました。あなたは、あの学科試験を突破して（いるだろうとの予想で）ここに居るわけです。まずそれを褒めておきましょう。（またその勇気を讃めましょう）

- ・学科は学習した量と比例して合格できるが、製図は別物だ。
- ・仕事は日々やっているからできるけど、製図試験は未だ受かったことがない。
- ・私は設計業務をやってないので絶対に不利だ。

そう思っていませんか。

でもあなたは、既にあの学科試験を突破しているんです。そして日々、社会人として設計ではない仕事であろうが業務をこなし、また家事をこなしているわけです。もう少しだけ自信を持ってください。

日々試験勉強。

本年度課題は「高齢者介護施設」。おそらく一度は分館を経験しているはずです。しかし「作る側」「計画する側」としては観てこなかったと思います。今回は、これまでのあなたの全経験を引きずり出して、しかもそれを「計画する側」の視点で組み立て直す必要があります。例えばあなたがメーカーの営業であつたら、うわー、この素材うちの商品で使いたいなー、とか、照明や空調、什器や家具を観ていたかもしれません。デザインではなく、コストや流通を考えていたかもしれません。

また単に美術鑑賞のために行っていたら、美術品しか見ていないかもしれません。

同じモノを觀ても、立場によって見え方が変わります。そして、今回あなたはもう一度、利用者のことを考えた上で、どう計画するのか、という視点で今までの情報を整理する必要があります。その部分が日々試験勉強なのです。

このつなげる作業がそのまま、あなたの応用力に変わる。

今までの知識を全動員しつつ、持っているその知識を、とあるキーワードで整理し直す。これができるようになると何でもできるようになります。その短期修養パッケージングが、この製図試験勉強なのです。

最後に合格するのは、次の 3 つを愚直に守る方

いつも講習会で話していることですが、不合格にならない方＝合格する方は、

①大枠を外さず、②減点に強く、③時間内完成

の答案を作る方です。

最後はここが勝負になります。一つ一つの判断がたいせつであり、どこまでいっても「基本」が狙われている試験です。

最後まであきらめない方が一番合格に近い

最後になりましたが、試験は最後まであきらめない方が一番合格に近い方だと思っています。必ず受験会場では 3 回くらいは「もうあかん、帰ろう」という場面があります。そのときに、あああかんわ、なのか、いやだからこそ、それでも前へ進めようのが問われます。そのときに力を発揮するかどうかは今までの努力を信じられる自分自身がいることに尽きます。製図試験の今年の最終の A2 図面に自身を信じて全てを投影すること。最後の最後まで自分自身を信じること。そこがスタートラインであり、ゴールイメージなのです。

エスキースはできる。図面は 3 時間を切る。そして一級建築士になる。

2020 年 8 月 11 日

製図試験.com 代表 山口 達也

この分析帖の解説 O/L セミナーはこちら。<https://seizushiken.com/2020kbc/>